N-08B

Lui機能マニュアル

このマニュアルについて

ご紹介	**巻頭　Lui機能でできること** Lui機能とはどんなものなのか、また、Lui機能のおすすめの使い方などについてご紹介しています。
準備と設定	**PART1　ご使用前の準備** ご使用になる前に準備していただくものについて説明しています。
	PART2　初期設定 宅内や外出先からLui機能を使うときに必要な設定について説明しています。
Lui機能を使う	**PART3　リモートスクリーンを使う** NECの独自技術を使ったリモートスクリーンの基本的な使い方について説明しています。
必要に応じてお読みください	**PART4　設定する** N-08BやサーバPCの設定方法について説明しています。
	PART5　トラブル解決 トラブルが起こったときの解決方法について説明しています。
	付　録 外出先でLui機能を使うときのコツや、ボタン操作の一覧などについて説明しています。

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記の意味

チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコン、N-08Bの破損の可能性があります。
メモ	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記のルール

【　】	【　】で囲んである文字は、サーバPCのキーボードのキーを指します。
BD/DVD/CD ドライブ	パソコンに搭載されている光ディスクドライブ(ブルーレイディスクドライブ、DVDスーパーマルチドライブなど)を指します。

◆このマニュアルで使用しているN-08Bの手順表記

N-08Bのボタン、メニューの操作方法は、次のように記載しています。

(このマニュアルの表記例)	(操作方法)
MENU →**「便利ツール」を選択する**	① 待受画面でMENUボタンを押します。 ② ↑↓←→で反転表示を「 」内の表示”便利ツール”に移動し、Enterを押します。
Enter **【開始】を選択する**	[ ]内の動作内容”開始”に対応するEnterボタンを押します。 ※N-08Bの画面左エリアに、動作内容と対応ボタンのガイダンスが表示されます。Enterを押すと、開始の動作が実行されることを示します。
Fn 2 **を押す**	Fnボタン、2ボタンの順に押します。

◆本文中の記載について

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、機種のモデルやソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している用語

（用語）	（意味）
N-08B	本FOMA端末を指します。
サーバ PC	「Luiケータイサーバ」がインストールされたパソコンを指します。
Lui 機能	N-08Bから自宅のパソコンを遠隔操作できるNEC独自の機能を指します。
Lui ケータイサーバ	N-08BでLui機能を実現するために、自宅のパソコンにインストールするソフトウェアを指します。
Lui ケータイ	N-08Bに搭載されるLui機能を実現するためのソフトウェアを指します。
宅内（接続）	サーバPCとN-08Bが同一のLAN内で接続されている状態を指します。
宅外（接続）	サーバPCとN-08Bがインターネットを介して接続されている状態を指します。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional Windows® 7 Ultimate
Windows Media Player	Windows Media® Player 12
Outlook	Microsoft® Office Outlook®
Windows Live メール	Windows Live™ メール
Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
タスクバー	Windows® タスクバー
ファイアウォール	Windows® ファイアウォール

◆ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NECモバイルインフォメーションセンターへご連絡ください。
（4） 当社では、本ソフトウェアの運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本ソフトウェアは、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本ソフトウェアを使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

◆商標

Microsoft、Windows、Windows Live、Hotmail、Internet Explorer、Outlook、Windows Media、およびWindows Mobileは、米国Microsoft Corporationおよび/またはその関係会社の商標です。
インテル、Intel、Intel Core、Pentium、Celeronはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
TRENDMICROおよびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
AOSS™および、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
スティックポインタはアルプス電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Lui、リモートスクリーン、セーフコネクト、ターゲットポインタはNECパーソナルプロダクツ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■輸出に関する注意事項

本ソフトウェアは日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本ソフトウェアに関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本ソフトウェアの輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This software is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. We*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. We*1 do not provide maintenance service nor technical support for this software outside Japan.

Export of this software (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of our sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC CASIO Mobile Communications, Ltd.

目　次

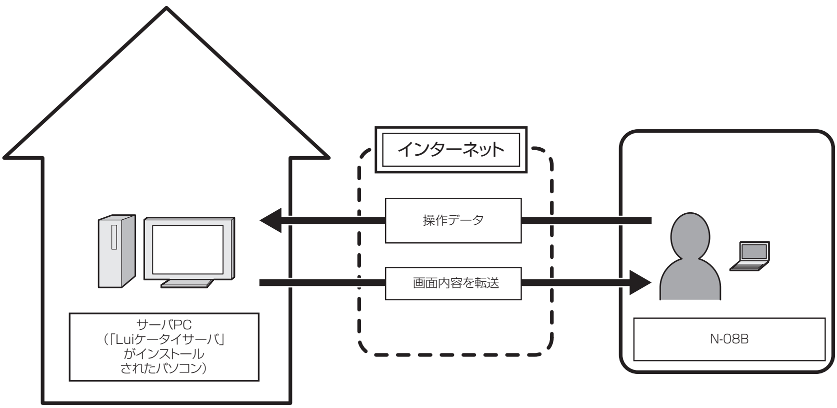
PART 5

Lui機能でできること

Lui機能とは

Lui機能を使うと、N-08Bで自宅内はもちろん、自宅外からも、自宅のパソコン(サーバPCと呼びます)を操作できるようになります(※1)。手軽に持ち運べるN-08Bをリモート操作端末として、サーバPCで使っているアプリケーションやコンテンツを利用できます。

※1:自宅外から利用する際は、FOMAネットワークまたは公衆無線LANによるインターネットへの接続が必要です。



■リモートスクリーン

「リモートスクリーン」とはN-08BからサーバPCを遠隔操作するNEC独自の機能です。
「リモートスクリーン」でサーバPCに接続して動画再生を含むパソコン操作を利用できます(※2)。

※2:ブルーレイディスクやDVDの再生、地デジ視聴、解像度の切り替えを伴うソフト、一部のオンラインゲーム、DirectXを使用する一部のソフトなど、使用できないソフトもあります。

■セーフコネクト

「セーフコネクト」とはN-08BとサーバPCをインターネット経由で安全に接続するための、NEC独自のVPN(仮想プライベートネットワーク)技術です。

■Lui機能を利用するためには

次のような機器が必要です。

●パソコン(サーバPC)

サーバPC用パソコンとして、日本語版Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium、各32ビット/ 64ビット版がインストールされているパソコンをご用意ください。動作確認しているパソコンについては、PART1の「サーバPCについて」(p.15)をご参照ください。

●無線LANルータ

サーバPCとN-08Bを宅外および宅内で接続して利用するために、UPnP対応の無線LANルータが必要です。
詳細については、「無線LANルータについて」(p.16)をご参照ください。

参照

・サーバPCについて→PART1の「サーバPCについて」(p.15)
・無線LANルータについて→PART1の「無線LANルータについて」(p.16)
・UPnP→付録の「用語集」(p.125)

■Lui機能を利用する際のご注意

- N-08BでLui機能をご利用になる際の注意事項は、パソコンで「NECカシオモバイルコミュニケーションズの製品ページ」をご確認ください。
  http://www.n-keitai.com/
- FOMA接続で、Lui機能をご利用中は、以下の操作以外はできません。
  FOMA音声電話の着信、SMS受信
- DUALモードのWi-Fi接続で、Lui機能をご利用中は、以下の操作以外はできません。
  FOMA音声電話の着信、SMS受信、iモードメールの受信、Wi-Fi音声電話の着信、エリアメール受信
- FOMA接続で、Lui機能をご利用中に受信したiモードメールは、iモードメールセンターに保管されます。

Lui機能でできること

おすすめの使い方

持ち歩くのはN-08Bだけ。
自宅にあるパソコンがいつも身近に。
自宅の好きな場所、外出先へも。

データは持ち出さなくてOK、自宅のパソコンにあるから安心です。

自宅の中



ビデオ、写真、音楽を　みたい場所、聴きたい場所で

N-08Bを好きな場所へ持って行って、お気に入りのコンテンツを楽しめます。

続きは別の部屋で・・・

パソコンでしていた作業、続きは別の部屋で、というときも便利です。

パソコンのソフトを有効利用

パソコンにインストールしているソフトやデータもN-08Bから利用できます。

外出先でも

自宅のパソコンを外出先から利用

外出先へは携帯しやすいN-08Bを持って行って、自宅のパソコンにアクセス。N-08Bにてパソコンの機能やソフトを利用できます。

データは1か所にまとめて保存

データを自宅のパソコン1台にまとめて保存すれば、データの分散や混在を防げます。

大切なデータの持ち出しも不要

データを自宅のパソコンに置いたまま利用できるので、紛失する心配が少なくなります。



※著作権保護されたコンテンツをN-08Bから視聴することはできません。

PART

1

ご使用前の準備

このPARTでは、Lui機能を使う前に準備するものや、あらかじめ設定しておく内容などを説明しています。

準 備 ▶ 初期設定 ▶ 利 用

作業の流れ

使いはじめるまでの準備について説明します。
ここでは、おおまかな流れをつかんでください。

準備の流れ

これから準備を始めます。

▼

サーバとするパソコン（サーバPC）を1台用意する

▼

サーバPCとN-08Bを同一LAN内で接続する

▼

サーバPCでインターネットを利用できるようにする
（宅外からリモートスクリーンを利用する場合）

▼

サーバPCがホームネットワークに接続されていることを確認する

▼

N-08Bのネットワーク設定をおこなう

▼

サーバPCにLuiケータイサーバをインストールする

▼

これで準備ができました。
「PART2 初期設定」へ進んでください。

ご使用前に確認すること

Lui機能をご利用になるには、ネットワークの回線やルータなどのネットワーク機器が必要です。

ここでは、設定をおこなう前に、必要なものがそろっているか確認します。

必要なソフトについて

Lui機能をご利用になるには、パソコンに専用ソフト「Luiケータイサーバ」をインストールする必要があります。

ソフト名	ファイル名	説　明
Luiケータイサーバ	LKSVsetup10.exe	サーバPCとするパソコンにインストールします。

「Luiケータイサーバ」は、NECカシオモバイルコミュニケーションズの製品ページよりパソコンでダウンロードします。

http://www.n-keitai.com/

チェック

- 「Luiケータイサーバ」は、N-08B専用となります。NECパーソナルプロダクツ社製の「PCリモーターサーバソフト」、「VALUESTAR R Luiモデル」、「Luiリモートスクリーン（親機版）」とは互換性がありません。

サーバPCについて

サーバPC用パソコンとして、日本語版Windows 7がインストールされているパソコンをご用意ください。
インテル®社製のCore™2 Duo 2GHz相当以上のプロセッサーを搭載したパソコンをご用意ください。
動作確認した機種はNECカシオモバイルコミュニケーションズの製品ページ（http://www.n-keitai.com/）でご確認ください。

チェック

- Luiケータイサーバの対応OSは、日本語版Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium、各32ビット／ 64ビット版です。
- Lui機能でサーバPCに接続するためには、サーバPCのWindows ユーザアカウントが管理者権限のあるユーザである必要があります。

無線LANルータについて

サーバPCとN-08Bを接続してLui機能を利用するには、無線LANルータが必要ですが、宅外および宅内で利用する場合は、UPnP対応の無線LANルータである必要があります。
宅内のみで利用する場合は、UPnP非対応の無線LANルータもご利用いただけます。

お使いのルータがUPnPに対応しているかどうかは、お使いのルータのマニュアルをご覧になるか、メーカ、レンタル元にお問い合わせください。なお、無線LANルータによっては、UPnP対応であってもLui機能を利用できない場合があります。

ネットワーク接続について

PART2の初期設定をおこなうために、あらかじめサーバPCとN-08Bを同一LANのホームネットワーク内で接続する必要があります。

サーバPC側のネットワークや無線LAN、インターネットの設定についてはサーバPCとするパソコンや無線LANルータのマニュアルをご覧になるか、メーカにお問い合わせください。

●宅内のみで接続する場合

サーバPC、N-08Bを同一LANのホームネットワーク内に接続できていれば、インターネットサービスプロバイダ(以降、プロバイダ)の契約は不要です。

メモ

・ 宅内でサーバPCへ接続する場合は、Wi-Fiネットワークでの接続となります。

●宅内および宅外で接続する場合

宅外からも接続するには、宅内のみで接続するときの条件に加え、プロバイダと契約し、サーバPCでインターネットを利用できるようにする必要があります。

宅外からサーバPCへ接続するには、電子メールまたはDynamic DNSのいずれかの方式を選択する必要があり、それぞれ用意するものが異なります。→p.19

宅外からFOMAネットワークでLui機能を利用する場合、mopera Uなどの対応プロバイダとのご契約が必要です。
また、FOMAネットワークでLui機能を利用する場合は「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となり、データ量の多い通信を行うと、通信料が高額になる場合がありますので、以下の定額制サービスへのご契約を強くおすすめします。
・「パケ・ホーダイ ダブル」または「パケ・ホーダイ シンプル」

メモ

・宅外からサーバPCへ接続する場合は、FOMAネットワークで接続する方法と、Wi-Fiネットワークで接続する方法があり、公衆LANのスポットサービスやホテルのインターネットサービス(無線LANに限る)を利用する場合はWi-Fiネットワークでの接続となります。

チェック

・お客様の自宅のネットワーク環境が、N-08Bを宅外のネットワークから利用するための条件を満たしているか、「環境チェックプログラム」を使って、事前に確認することをおすすめします。環境チェックプログラムは、NECカシオモバイルコミュニケーションズの製品ページからパソコンでダウンロードできます。
http://www.n-keitai.com/

■ネットワーク接続をするために用意するもの

◎：利用シーンに関係なく、Lui機能使用にあたり必須
○：サービスや機能を利用する場合に必要

◆ルータ

用意するもの		宅内	宅外	備考
ルータ（※1※2）	UPnP対応（※3）		◎	UPnPは、複雑な操作をすることなく、機器をネットワークに接続し、ネットワークを通じて操作する規格です。
	DHCP対応	○	○	DHCP機能を有効にすることをおすすめします。 DHCPは、機器がネットワークに接続する際に必要な情報を提供する機能です。
	グローバルIPアドレスの割り当て（※3）		◎	グローバルIPアドレスは、インターネットにつながっている機器に割り振られた、ほかと重複することのないIPアドレスです。宅外でLui機能を利用するには、ご自宅のルータにグローバルIPアドレスが割り振られている必要があります。グローバルIPアドレスは「動的」「固定」のどちらでもかまいません。ご自宅のルータにグローバルIPアドレスが割り振られているかについては、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
	無線LAN対応	◎	◎	N-08Bとルータは、無線LANを使って接続します。 サーバPCは、無線LANまたは有線LANで接続します。
	有線LAN対応	○	○	サーバPCを有線で接続したいときに必要です。
	遠隔起動対応（※4）	○	○	サーバPCを遠隔起動する際に必要です。
LANケーブル（※1）		○	○	サーバPCとルータを有線で接続したいときに準備してください。

※1：サーバPCとルータを有線LANで接続する場合、ルータのLANポートとサーバPCのLANコネクタをLANケーブルで接続します。
無線LANの場合、お使いの環境に合わせてネットワークに接続してください。

※2：ルータのファームウェアを最新にしてください。ファームウェアは、ルータの動作を制御するソフトウェアで、ルータに内蔵されています。お使いのルータのメーカのホームページからダウンロードすることで、最新の機能を利用できます。詳しくは、ルータのマニュアルをご覧になるか、メーカにお問い合わせください。

※3: お使いの機器が対応しているかわからないときは、パソコンでNECカシオモバイルコミュニケーションズの製品ページ(http://www.n-keitai.com/)にアクセスし、「環境チェックプログラム」をダウンロードしてご利用ください。このプログラムは、お客様の自宅のネットワーク環境を確認し、Lui機能を宅外のネットワークから利用するための条件を満たしているかを確認するものです。

※4: スリープや休止、シャットダウン状態のサーバPCを動作中の状態にする機能です。遠隔起動を利用する際には、ルータの遠隔起動対応に加え、サーバPCが遠隔起動(WoL(Wake on LAN))機能に対応している必要があります。詳細については、「遠隔起動(WoL(Wake on LAN))機能について」(p.24)をご参照ください。

◆サーバPC

用意するもの	宅内	宅外		備考
		メール使用	DDNS使用	
無線LAN対応	○	○	○	N-08Bとルータは、無線LANを使って接続します。 サーバPCとルータは、無線LANまたは有線LANで接続します。ただし、有線LANで接続することをおすすめします。
有線LAN対応	○	○	○	サーバPCとルータを有線で接続したいときに必要です。
メールアカウント		◎		電子メールを使用した宅外接続をする際に必要です(※1)。 メールアカウントは、使用する受信メールサーバがPOP3に、送信メールサーバがSMTP認証(SMTP Auth)に対応しているものを使用してください(※2)。 Webメール、フリーメール、広告が挿入されるメールなどは使用できません。また、迷惑メールフィルタをご利用になっている場合、セーフコネクトが正常に動作しないことがあります。
DDNSドメイン			◎	Dynamic DNSを使用した宅外接続をする際に必要です(※1)。 DDNSドメインを利用するためには、BIGLOBEダイナミックDNSなどのDDNSサービスに加入する必要があります。 日本語ドメインには対応しておりません。

用意するもの	宅内	宅外		備考
		メール使用	DDNS使用	
ブロードバンド回線		◎	◎	宅外でLui機能を利用するには、(プロバイダとのご契約が必要になります。 サーバPC側のブロードバンド回線の上り速度は8Mbps以上(実効速度)が推奨、1.7Mbps以上が必須となります。快適にご利用になるには光回線(FTTH)をおすすめします。 回線速度の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

※1：宅外でリモートスクリーンを利用するには、メールアカウントかDDNSドメインのどちらかが必須となります。

※2：受信メールサーバが、「HTTP(Webメール)」「Microsoft Exchange Server」「IMAP」などPOP3以外のメールアカウントを使用している場合は、そのメールアカウントは利用できません。
また、POP over SSL(POPS)やSMTP over SSL(SMTPS)も使用できません。

◆N-08B

用意するもの	宅内	宅外		備考
		FOMA接続	Wi-Fi接続(無線LAN)	
FOMAカード		◎		FOMAカードは、宅外からFOMAネットワークでLui機能を利用する場合に必要で、また、mopera Uなどのプロバイダと契約が必要です。 Lui機能は大量のデータ通信をおこなうため、以下の定額サービスにも加入することを強くおすすめします。 ・「パケ・ホーダイ ダブル」または「パケ・ホーダイ シンプル」 なお、大量のデータ通信や長時間接続をおこなうと、通信が遅くなったり中断される場合があり、Lui機能のご利用が中断される場合があります。

用意するもの	宅内	宅外		備考
		FOMA接続	Wi-Fi接続（無線LAN）	
無線LAN経由でインターネットに接続できる環境			◎	FOMAネットワークを利用しないで宅外からインターネットに接続するには、 ・ 公衆無線LANのスポットサービス ・ ホテルのインターネット接続サービス（無線LANに限る） などを別途ご利用ください。

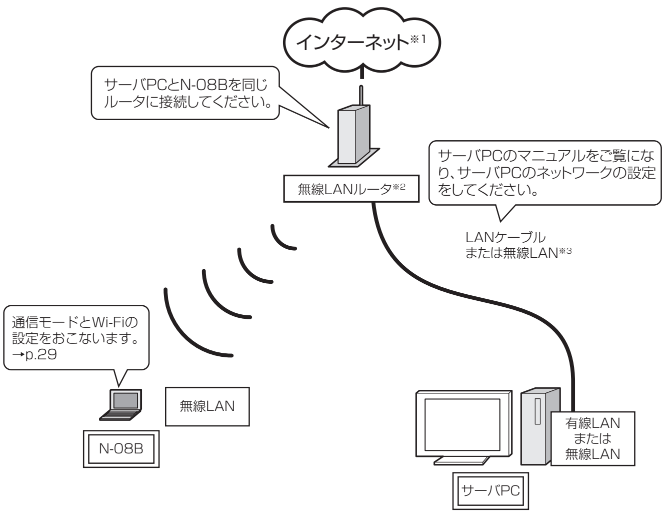
ホームネットワークの準備

Lui機能は、FOMA接続(パケット通信)、Wi-Fi接続(ホームネットワークまたは公衆無線LAN)の両方でご利用いただけます。
初期設定をおこなうために、あらかじめサーバPCとN-08Bを同一LANのホームネットワーク内で接続しておく必要があります。

サーバPCとルータを接続する

サーバPCをルータに接続します。
サーバPCとルータの接続についてはサーバPCとするパソコンやルータのマニュアルを参照してください。
N-08Bはこのあとで「N-08Bのネットワーク設定をおこなう」(p.29)の設定をおこない、無線LANでルータと接続します。

ネットワーク接続図



※1:Lui機能を宅外で使用するときにインターネット接続環境が必要です。宅内のみで使用する場合、インターネット接続環境は不要です。
※2:DHCPサーバ機能を有効にすることをおすすめします。また宅外で使用する場合はUPnPに対応している必要があります。
※3:サーバPCは有線LANで接続することをおすすめします。

サーバPCでインターネットを利用できるようにする（宅外からリモートスクリーンを利用する場合）

- 宅外からリモートスクリーンを利用する場合は、「Luiケータイサーバ」をインストールしたサーバPCをインターネットに接続するために、プロバイダと契約し、メールアカウント（SMTPとPOP3で送受信可能なメールアドレス）もしくは、DDNSサービスの契約が必要になります。

  プロバイダとの契約後、サーバPCでインターネットが利用できることを確認してください。インターネットの接続設定については、ご契約の回線事業者／プロバイダの情報にしたがって設定してください。

- ご利用にあたっては、上り速度約8Mbps以上（実効速度）のブロードバンド回線が推奨、1.7Mbps以上が必須となります。快適にご利用になるには光回線（FTTH）をおすすめします。回線速度については、ご利用になるプロバイダに確認してください。

- メールアカウントは、Webメールや広告が挿入されるフリーメールなどではご利用になれません。また、お使いのプロバイダのメールが迷惑メール送信規制（OP25B）に対応している必要があります。詳細はお使いのメールサービスを提供しているプロバイダにご確認ください。

- DDNSサービスの契約については、（BIGLOBEなど）サービスを提供しているプロバイダにご確認ください。

宅外からリモートスクリーンを利用するときの注意

サーバPCとルータに関する次の点もご確認ください。

● サーバPCを接続するルータに、グローバルIPアドレスが割り振られていることを確認してください

グローバルIPアドレス（動的IPアドレスもしくは固定IPアドレス）が割り振られていないと、N-08Bを宅外から接続することができません。グローバルIPアドレスが割り振られているかどうかは、ご契約のプロバイダに確認してください。

● サーバPCを接続しているルータを2段以上つながないでください

ルータを2段以上つなぐと、サーバPCをつないでいるルータにグローバルIPアドレスが割り振られず、N-08Bを宅外から接続できません。
プロバイダなどからレンタルされているルータやマンションなどで管理されているルータがある場合、新たに無線LANのルータを接続すると、２段つなぎになりますのでご注意ください。

● ほかのパソコンなどで同じメールアドレスのメールを同時に受信しないでください（接続処理に電子メールを使用する場合）

N-08Bは、電子メールを使用した宅外接続開始時にサーバPCとメールのやりとりをおこないます。このメールがサーバPCでないほかの機器に取得されてしまうと、接続できなくなります。
接続時はほかの機器からのメール受信がおこなわれないようにするか、メールのコピーを受信メールサーバに残す設定をおこなってください。

● 接続時に送受信するメールが迷惑メールと見なされない設定にしてください（接続処理に電子メールを使用する場合）

電子メールを使用した宅外接続時に送受信するメールをプロバイダが、迷惑メールと見なしてフィルタしている場合、接続できなくなります。
迷惑メールフィルタをご利用の場合、迷惑メールの例外設定で、メールヘッダーに次の文字を含むものを例外条件として設定してください。
X-Mailer: SafeConnect

● 接続時に送受信するメールをメール転送する際、受信メールサーバから自動削除しないでください（接続処理に電子メールを使用する場合）

電子メールを使用した宅外接続時に送受信するメールを受信メールサーバなどでほかのメールアドレスへ自動転送する設定をおこなう際、転送されたメールを自動削除する設定にすると接続できません。転送後も受信メールサーバに残すように設定してください。

● サーバPCが外部から接続可能な状態になっていることを確認してください

お使いのサーバPCがWoLに対応していない場合は、スリープ状態、休止状態、シャットダウン状態では接続できません。サーバPCが起動中になっていることを確認してください。

遠隔起動（WoL（Wake on LAN））機能について

サーバPCが遠隔起動（WoL（Wake on LAN））機能に対応している場合、市販のWoL対応ルータを利用して、N-08BからサーバPCの電源を入れることができます。
WoL機能でサーバPCの電源を入れた後、リモートスクリーン接続の操作をおこないます。

WoLを利用するには、DDNSサービスの契約が必要になる場合があります。必要な契約については、対応ルータのメーカにお問い合わせください。

参照

・DDNS→付録の「用語集」（p.124）

お使いのサーバPCがWoLに対応しているかどうかや利用方法については、サーバPCのマニュアルをご覧ください。
WoLを利用できるルータ製品については、ルータのメーカにお問い合わせください。

サーバPCがホームネットワークに接続されていることを確認する

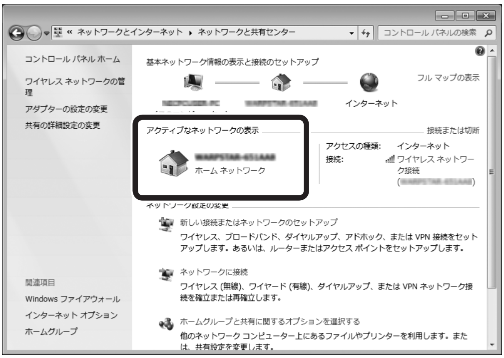
PART2の「初期設定」(p.41)をおこなう前に、N-08BとサーバPCを「ホームネットワーク」に接続する必要があります。
次の説明をご覧になり、「ホームネットワーク」に接続されているかをサーバPC、N-08Bの順に確認し、接続されていない場合は接続をおこなってください。
まず、次の手順で、サーバPCが「ホームネットワーク」に接続されているかを確認し、接続されていない場合は、接続までをおこないます。

チェック

・ サーバPCとN-08Bは別の名称にする必要があります。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする

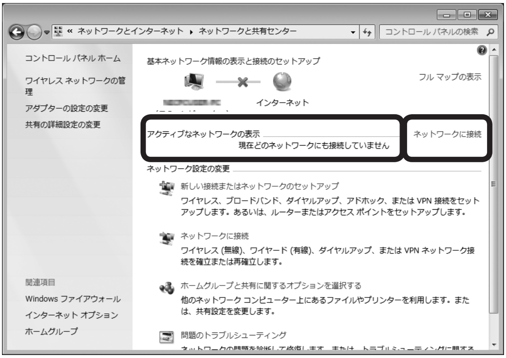
2 「アクティブなネットワークの表示」に「ホーム ネットワーク」と表示されている場合、[×]をクリックして画面を閉じる



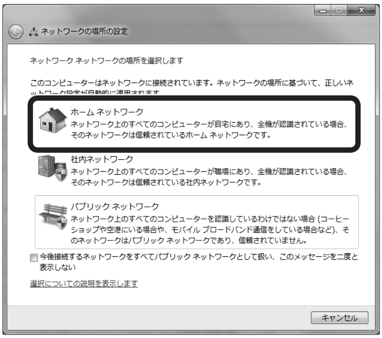
・ 「ホーム ネットワーク」と表示されている場合は、すでにサーバPCがホームネットワークに接続されています。続いて、「N-08Bのネットワーク設定をおこなう」(p.29)へ進んでください。
・ 「現在どのネットワークにも接続していません」と表示されている場合は、手順3へ進んでください。
・ 「パブリックネットワーク」、「社内ネットワーク」と表示されている場合は、手順4へ進んでください。

3 「アクティブなネットワークの表示」に「現在どのネットワークにも接続していません」と表示されている場合、「ネットワークに接続」をクリックする

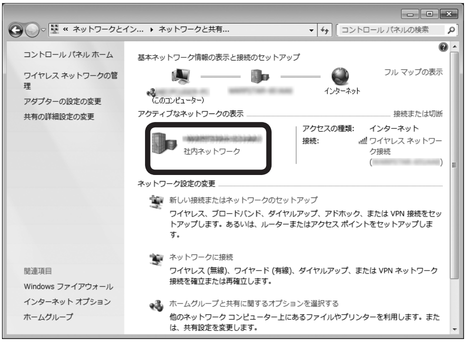
ネットワーク接続をおこなってください。



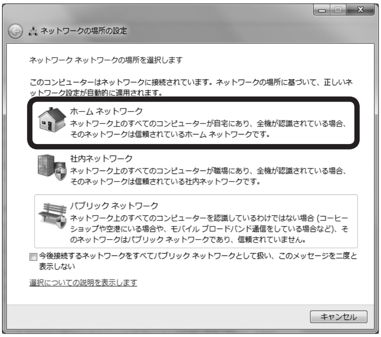
途中で[ネットワークの場所の設定]画面が表示された場合、「ホームネットワーク」をクリックしてください。ホームグループの作成をおこなう場合は、画面にしたがって設定をおこない、設定後、手順5へ進んでください。



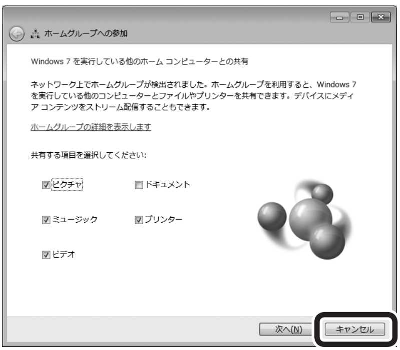
4 「アクティブなネットワークの表示」に表示されている「社内ネットワーク」または「パブリックネットワーク」をクリックする



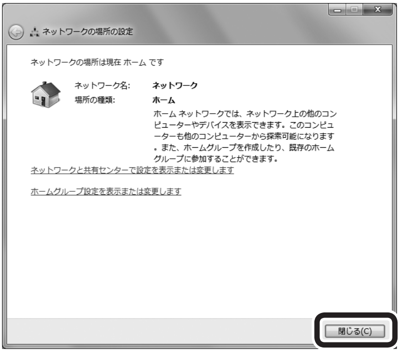
途中で[ネットワークの場所の設定]画面が表示されたら、「ホームネットワーク」をクリックしてください。



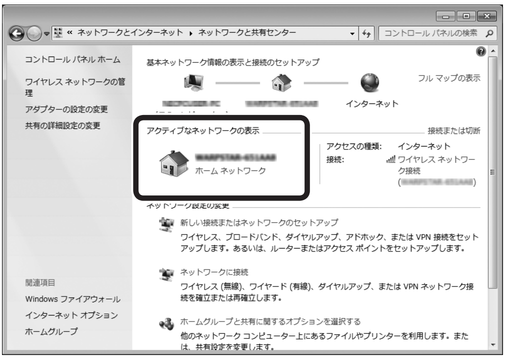
「ホームグループの作成」または「ホームグループへの参加」が表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。



「ネットワークの場所の設定」が表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。



5 手順2の画面で「アクティブなネットワークの表示」に「ホーム ネットワーク」と表示されていることを確認し、をクリックする



これで、サーバPCがホームネットワークに接続されました。続いて、「N-08Bのネットワーク設定をおこなう」へ進んでください。

N-08Bのネットワーク設定をおこなう

通信モードについて

N-08Bの通信モードについて説明します。初期設定やリモートスクリーン接続をおこなうときは、あらかじめ設定していた通信モードで接続されます。
初期設定をおこなうには、DUALモード(Wi-Fi優先)またはWi-Fiシングルモードにする必要があります。

通信モード	説明
DUALモード(FOMA優先)(※1)	Wi-FiネットワークまたはFOMAネットワークを利用して接続します。 Wi-FiネットワークとFOMAネットワークがいずれも圏内のときは、FOMAネットワークを優先して接続します。 FOMAネットワークのみ圏外のときは自動的にWi-Fiネットワークに切り替えて接続します。
DUALモード(Wi-Fi優先)(※1)〈推奨〉	Wi-FiネットワークまたはFOMAネットワークを利用して接続します。 Wi-FiネットワークとFOMAネットワークがいずれも圏内のときは、Wi-Fiネットワークを優先して接続します。 Wi-Fiネットワークのみ圏外のときは自動的にFOMAネットワークに切り替えて接続します。
FOMAシングルモード(※1)	初期設定は宅内でおこなうため、本モードには設定しないでください。 また、リモートスクリーン利用時も、宅内での接続を利用できなくなるため推奨しません。
Wi-Fiシングルモード	Wi-Fiネットワークのみでリモートスクリーンを利用したい場合に選択します。

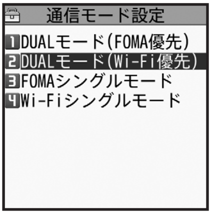
※1：FOMAネットワークで接続する際にはパケット通信料がかかります。

通信モードを設定する

まず、N-08Bの通信モードの設定をおこないます。

1 MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「共通設定」→「優先接続設定」→「通信モード設定」を選択する

Fn Q を押して「通信モード設定」を起動することもできます。



2 通信モードをDUALモード（Wi-Fi優先）またはWi-Fiシングルモードに設定する

「通信モードについて」（p.29）の説明をご覧になり、設定してください。

次のように設定すると、宅外、宅内とも同じ設定にてLui機能をご利用できます。

- 宅外にて、Lui機能を含むFOMA通信を利用する場合
  DUALモード（Wi-Fi優先）
- 宅外および宅内にて、Lui機能を含むWi-Fi通信のみを利用する場合
  Wi-Fiシングルモード

3 BluetoothとWi-Fiを同時に利用するときの注意画面が表示されたら、Enter [OK]を押す

↓ で内容をスクロールしないと、Enter [OK] ボタンは有効となりません。

Wi-Fiの接続先を設定する

次に、Wi-Fiの接続先を以下のいずれかの方法で設定し、N-08Bをホームネットワークに接続します。
ホームUにご契約されていて、ホームU接続先を設定している場合は、先に「ホームU接続先を設定している場合」(p.35)をご覧ください。接続先の設定を変更しないとLui機能を利用できません。

- ・ワイヤレスネットワーク検索
- ・らくらく無線スタート
- ・AOSS
- ・WPS

チェック

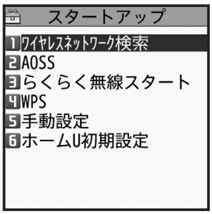
- ・ 上記の機能が搭載されているかどうかは、お使いのルータのマニュアルでご確認ください。
- ・ アクセスポイントモードの接続先(※1)を変更しても、Lui機能の「接続先設定」(p.60、p.93)の接続先は変更されません。

  ※1:MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「アクセスポイントモード」→「アクセスポイントモード設定」→「接続先設定」の接続先を指します。

●ワイヤレスネットワーク検索で設定をおこなう

1 MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「スタートアップ」を選択する

スタートアップ画面が表示されます。



2 「ワイヤレスネットワーク検索」を選択する

アクセスポイントの検索がおこなわれ、検索結果一覧画面が表示されます。
アクセスポイントが検出されなかった場合は、「OK」を選択して再度、検索をおこなってください。

3 検索結果一覧画面で、接続するアクセスポイント（SSID名）を反転し、[Enter][登録]を押す

お使いの環境によっては、アクセスポイントが複数表示されますので、ルータのマニュアルをご覧になり、接続したいアクセスポイント名を特定してください。

4 接続先の名称を変更したい場合は名称を編集し、編集が終わったら[Fn][2][完了]を押す

5 WEPキーまたはWPA/WPA2-PSKキーの入力を促す画面が表示された場合は、[Enter]を押し、WEPキーまたはWPA/WPA2-PSKキーを入力する

WEPキーまたはWPA/WPA2-PSKキーの入力については、ルータのマニュアルをご覧になるか、メーカにお問い合わせください。

6 入力が終わったら[Fn][2][確定]を押し、[Fn][2][完了]を押す

ホームネットワークに接続されたら、N-08Bの画面上部に「Wi-Fi」が表示されます。

これで、サーバPCとN-08Bがホームネットワークに接続されました。
「Luiケータイサーバのインストール」（p.37）へ進んでください。

●らくらく無線スタートで設定をおこなう

ルータにらくらくスタートボタンが搭載されている場合、「らくらく無線スタート」で設定すると、WEPなどの暗号キーの入力を省略して設定することができます。

1 [MENU]→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「スタートアップ」を選択する

スタートアップ画面が表示されます。



2 「らくらく無線スタート」を選択する

アクセスポイントの検索がおこなわれ、検出されると「らくらくスタートボタン」を押すことを促すメッセージが表示されます。

3 画面の指示に従い、ルータの「らくらくスタートボタン」(SETボタン)を押す

設定が完了すると設定完了を通知するメッセージが表示されます。
設定に失敗した場合は「再検出」を選択し、再度設定をおこなってください。

ホームネットワークに接続されたら、N-08Bの画面上部に「 」が表示されます。

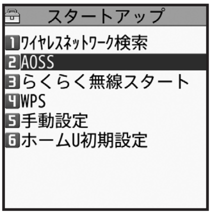
これで、サーバPCとN-08Bがホームネットワークに接続されました。
「Luiケータイサーバのインストール」(p.37)へ進んでください。

●AOSSで設定をおこなう

ルータにAOSSボタンが搭載されている場合、WEPなどの暗号キーの入力を省略して設定することができます。

1 MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「スタートアップ」を選択する

スタートアップ画面が表示されます。



2 「AOSS」を選択する

アクセスポイントの検索がおこなわれ、検出されると「AOSSボタン」を押すことを促すメッセージが表示されます。

3 画面の指示に従い、ルータの「AOSSボタン」を押す

設定が完了すると設定完了を通知するメッセージが表示されます。
設定に失敗した場合は「再検出」を選択し、再度設定をおこなってください。

ホームネットワークに接続されたら、N-08Bの画面上部に「」が表示されます。

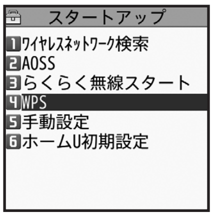
これで、サーバPCとN-08Bがホームネットワークに接続されました。
「Luiケータイサーバのインストール」(p.37)へ進んでください。

●WPSで設定をおこなう

PINコードやプッシュボタンを利用する方法で、WEPなどの暗号キーの入力を省略して設定することができます。
PINコードを利用する方法の場合、FOMA端末がランダムに生成する「PINコード」を用いて認証をおこなうため、より安全に設定をおこなうことができます。

1 MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「スタートアップ」を選択する

スタートアップ画面が表示されます。



2 「WPS」を選択する

3 「PINコード入力方式」または「プッシュボタン方式」を選択する

アクセスポイントの検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作をおこなってください。

「PINコード入力方式」を選択した場合、N-08Bの画面に「PINコード」(WPS用PINコード)が表示されたら、その番号をアクセスポイントに登録してください。
「プッシュボタン方式」を選択した場合、アクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。

アクセスポイントとの間でWi-Fiの設定情報が交換され、接続先に反映されます。
設定が完了すると設定完了を通知するメッセージが表示されます。
設定に失敗した場合は「再検出」を選択し、再度設定をおこなってください。

ホームネットワークに接続されたら、N-08Bの画面上部に「Wi-Fi」が表示されます。

これで、サーバPCとN-08Bがホームネットワークに接続されました。
「Luiケータイサーバのインストール」(p.37)へ進んでください。

ホームU接続先を設定している場合

接続先がホームU接続先に設定されている場合は、Lui機能を利用できません。
N-08Bにて、以下のいずれかの方法で接続先の設定を変更してください。
接続先一覧は、MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「接続先切替」→「接続先一覧」で表示できます。

■ 接続先一覧に登録済みのホームU接続先以外の接続先が未登録、または使用できない状態の場合

「Wi-Fiの接続先を設定する」(p.31)をご覧になり、ホームU以外の接続先を新規に登録してください。

■ 接続先一覧にホームU接続先以外の接続先が登録済みで、使用できる状態の場合

ホームU接続先以外の接続先に切り替えてください。

1 待受画面表示中にEnterを1秒以上押す

2 ホームU接続先以外の、登録済みの接続先を反転し、Enter[登録]を押す

■ 接続先一覧にホームU接続先以外の接続先が登録済みで、ホームU接続先の設定を変更する場合

以下のいずれかをおこなってください。

●ホームU接続先の優先順位を下げる

1 MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「接続先切替」→「接続先一覧」

[接続先一覧]画面が表示されます。

2 優先順位を変更したい接続先を反転する

接続先は、優先順位の高い順に表示されています。

3 Fn 1[サブメニュー]を押し、「優先順位の変更」を選択する

4 変更したい位置を反転し、Enter[選択]を押す

5 Fn 2[完了]を押す

●ホームU接続先を無効にする

1 MENU→「便利ツール」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi設定」→「接続先切替」→「接続先一覧」

[接続先一覧]画面が表示されます。

2 無効にしたい接続先を反転する

3 Fn 1[サブメニュー]を押し、「接続先無効」を選択する

Luiケータイサーバのインストール

Lui機能を使用するためには、サーバPCに「Luiケータイサーバ」をインストールしてから、初期設定をおこないます。

ここでは、サーバPCに「Luiケータイサーバ」をインストールする方法について説明します。

チェック

- インストールするには、インストール先のハードディスク空き容量が200Mバイト以上必要です。
- 必ず管理者権限のあるユーザでログオンしてからインストールしてください。
- 起動中のほかのアプリケーションは終了させてから、インストールしてください。
- ルータのDHCPサーバ機能を有効にすることをおすすめします。
- ウイルス検出ソフトなどセキュリティソフトを使用していると、「インストールを許可しますか」「通信を許可しますか」などセキュリティの警告が出ることがあります。その場合、「許可する」「はい」などをクリックしてください。インストールを許可しない場合は、インストールはおこなわれません。

1 **サーバPCとするパソコンでセットアップファイル(LKSVsetup10.exe)をダブルクリックする**

セットアップファイルは、「Luiケータイサーバ」をダウンロードしたフォルダから起動してください。

2 **[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合、「はい」をクリックする**

この画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

3 **「セットアップの準備」と表示された後、[Luiケータイサーバセットアップへようこそ]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする**

以降、表示される画面については、変更しないで「次へ」をクリックし、インストールを進めてください。



4 **[使用許諾契約]画面が表示されたら、内容を確認の上「使用許諾契約の全条項に同意します」をにして「次へ」をクリックする**

5 [プログラムフォルダ指定]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

インストール先を変更するときは「変更」ボタンをクリックして、インストール先のフォルダを選択してください。

チェック

- お使いの環境によって画面が異なることがあります。



6 [インストール確認]画面が表示されたら、「インストール」をクリックする



「Luiケータイサーバをインストールしています。しばらくお待ちください。」と画面に表示されるので、そのまましばらくお待ちください。

7 インストールが完了したことを示す画面が表示されたら、「OK」をクリックする

再起動を促す画面が表示されますので、パソコンを再起動してください。

チェック

・ PS/2キーボードが接続されているパソコンや一部のパソコンでは、インストールが完了すると自動で再起動をおこなう画面が表示され、「再起動」ボタンをクリックするか、一定時間経過すると再起動します。

これでLuiケータイサーバのインストールは完了です。
「PART2 初期設定」へ進んでください。

PART

2

初期設定

このPARTでは、初期設定から宅内または宅外からの接続ができるようになるまでを説明しています。

準　備 ▶ 初期設定 ▶ 利　用

作業の流れ

初期設定は、サーバPCとN-08Bともに電源を入れた状態で作業します。
サーバPCの初期設定では、リモートスクリーンを宅外でも利用するかどうかによって設定内容が異なります。

- 宅外および宅内で利用する場合は、電子メールまたはDynamic DNSの設定をおこないます。
- 宅内のみで利用する場合は、宅内のみの設定をおこないます（電子メールやDynamic DNSの設定は不要）。

初期設定開始から完了までの流れ

お使いの環境にあわせて進めてください。

▼

N-08Bから「サーバ接続設定」を起動する

▼

サーバPCの初期設定をおこなう

▼

サーバPCの設定情報をN-08Bに取り込む

▼

宅内で接続の確認をする

▼

FOMAネットワークの接続先を設定する
（宅外からFOMAネットワークを利用して接続する場合）

▼

これで初期設定ができました。
「PART3 リモートスクリーンを使う」へ進んでください。

N-08Bから「サーバ接続設定」を起動する

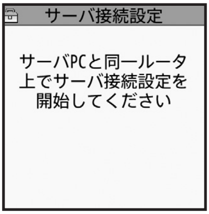
サーバPC側に設定するN-08Bの名前を登録し、サーバPCへの接続設定をおこないます。

チェック

・「サーバ接続設定」を起動して初期設定をおこなう前に、PART1をご覧になり、サーバPCに「Luiケータイサーバ」のインストールが済んでいて、N-08BとサーバPCが同じ無線LANルータに接続されていることを確認してください。

1 N-08BからMENU→「便利ツール」→「Lui機能」→「Lui設定」→「サーバ接続設定」を選択する

次の画面が表示されます。



2 Enter[開始]を押す

3 サーバPC側に設定するN-08Bの名前を入力する

Enter[選択]を押すと、名前を編集できます。編集が終わったらFn 2[確定]を押します。

チェック

・N-08Bの名前は、サーバPCのコンピュータ名と同じにしないでください。接続できないことがあります。
・2台目以降のN-08Bを登録する場合は、すでに登録しているN-08Bの名前と同じ名前をつけないようにしてください。

4 名前を確認し、Fn 2 [確定]を押す

「サーバ側に以下の名前で本機を登録します」と表示されます。

5 Enter [登録]を押す

サーバPCの初期設定を促すメッセージが表示されます。

N-08Bの画面はそのままにして、「サーバPCの初期設定をおこなう」へ進んでください。

サーバPCの初期設定をおこなう

「Luiケータイサーバ」をインストールしたパソコン(サーバPC)にて、初期設定をおこなってください。

チェック

- 必ず管理者権限のあるユーザでログオンしてから初期設定をおこなってください。
- 初期設定に失敗する場合は、このPARTの「セキュリティソフトの設定について」(p.62)を参照し、ファイアウォールの設定をしてください。
- サーバPCにノートパソコンをご利用の場合、パソコンのマニュアルをご覧になり、サーバPCにACアダプタを接続しておいてください。

1 サーバPCで、管理者権限のあるWindowsのアカウントでWindowsのパスワードを設定する

パスワードの設定方法については、サーバPCのマニュアルをご覧ください。
すでに設定済みの場合は、あらためて設定する必要はありません。手順2へ進んでください。

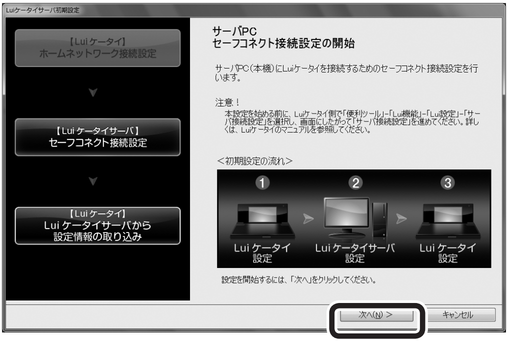
2 サーバPCの「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiケータイサーバ」-「Luiケータイサーバ初期設定」をクリックする

[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合、「はい」を選択してください。

チェック

- サーバPCの解像度は、1024×768以上に設定する必要がありますが、ディスプレイのDPIの設定が大きい場合、起動できないことがあります。そのときは、DPI設定の「カスタム　テキストサイズの設定(DPI)」で文字サイズを100%に設定するか、または、「Windows XP形式のDPIスケーリングを使用する」にチェックを入れてください。DPIの設定は、画面上で右クリックし、「画面の解像度」-「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックして表示される画面で変更できます。

3 [サーバPC セーフコネクト接続設定の開始]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする



4 [自動ログオンユーザ設定]画面が表示されたら、Windowsにログオンするユーザアカウントを確認し、ユーザアカウントのパスワードを入力する

ここではWindowsにログオンするときのパスワードを入力して自動ログオンできることを確認します。

サーバPCにWindowsのパスワードを設定していない場合は、自動ログオンできないためパスワードを設定してください。パスワードの設定方法については、サーバPCのマニュアルをご覧ください。

チェック

- マルチユーザに対応していません。「自動ログオンユーザ」に設定できるのは、サーバPC1台につき、管理者権限のあるユーザアカウント1つになります。



チェック

- 初期設定完了後、ユーザアカウントのパスワードを変更した場合は、PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

5 「テスト」をクリックする

「自動ログオンテスト結果」に「OK」が表示されていることを確認してください。「OK」が表示されないと次へ進めません。

メモ

- Lui機能をご利用の場合は、あらかじめ設定したユーザアカウントでのみご利用できます。

6 [自動ログオンユーザ設定]画面で、「次へ」をクリックする

[Luiケータイの使用環境の選択]画面が表示されます。

7 使用環境を選択する

●外出先および宅内で使用する場合（接続処理に電子メールを使用）

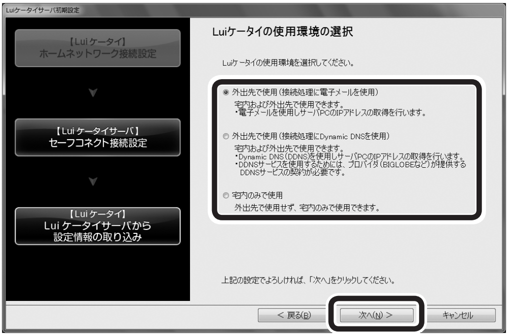
電子メールの設定が必要です。「外出先で使用（接続処理に電子メールを使用）」を◉にして「次へ」をクリックして手順8へ進んでください。

●外出先および宅内で使用する場合（接続処理にDynamic DNSを使用）

DDNSの設定が必要です。「外出先で使用（接続処理にDynamic DNSを使用）」を◉にして「次へ」をクリックして手順10へ進んでください。

●宅内のみで使用する場合

外出先の設定（電子メール設定またはDDNS設定）を省くことができます。「宅内のみで使用」を◉にして「次へ」をクリックして手順12へ進んでください。



メモ

- 本画面は初めて初期設定をおこなう場合の画面です。二度目以降の[Luiケータイの使用環境の選択]画面とは異なります。
- 外出先から接続する場合、接続処理にDynamic DNSを使用すると、電子メールによる接続処理よりも早く接続できます。
- 接続処理に電子メールおよびDynamic DNSを使用する設定を選択すると、宅内でのWi-Fi接続も可能となります。
- いったん宅内で接続確認をして、後で、「外出先で使用」に変更することもできます。
  その場合は、「宅内のみで使用」を◉にして、このまま進み、PART2が済んでから、別途、PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、設定の変更をおこなってください。

8 電子メールの設定をおこなう

[セーフコネクト接続用電子メールの設定]画面が表示された場合は、サーバPCに接続するためのIPアドレスの通知にメールを使用するため、メール設定をおこないます。

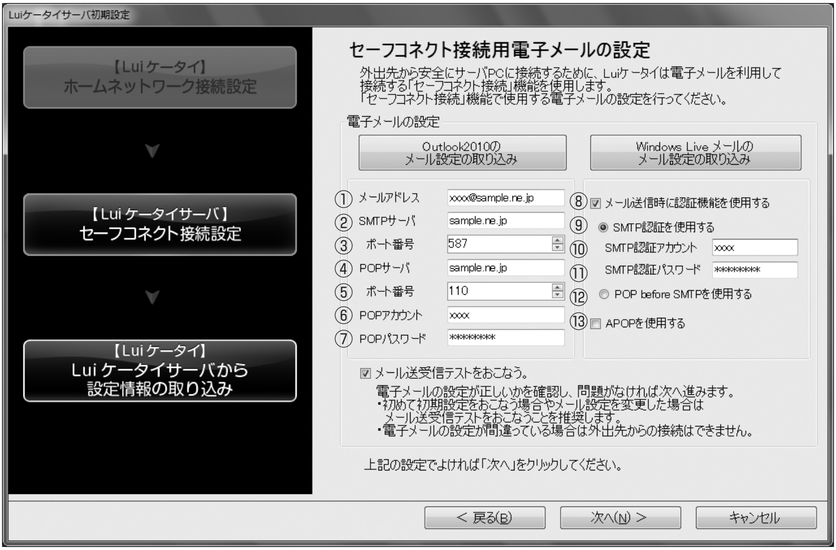
p.51の表を参考に必要な項目を入力してください。

または、以下のボタンをクリックすると、すでに使用しているメールアドレスの設定を取り込むことができるので、設定が簡単にできます。

- 「Outlook2010のメール設定の取り込み」ボタン
  Outlook2010のメール設定が取り込まれます。
- 「Windows Live メールのメール設定の取り込み」ボタン
  Windows Live メールのメール設定が取り込まれます。

チェック

- Outlook2007がインストールされているときは「Outlook2007のメール設定の取り込み」ボタンになります。
- 電子メールアカウントには、使用する受信メールサーバが「POP3」のものを使用してください。
- メールソフトにHotmailなど受信メールサーバが「POP3」以外のメールアカウントを設定している場合にメール設定の取り込みをおこなうと、正常に取り込まれないことがあります。その場合は、受信メールサーバが「POP3」であるメールアカウントの設定情報を手動で入力してください。
- POPパスワードとSMTP認証パスワードは取り込めませんので、それぞれ入力してください。
- SSL接続(POP over SSL、SMTP over SSL)は未対応です。



▲設定の一例

チェック

- 宅外から接続するために、初期設定値ではSMTPサーバの「ポート番号」が587、POPサーバの「ポート番号」が110、「メール送信時に認証機能を使用する」と「SMTP認証を使用する」にチェックが入っています。
  この値を変更してしまうとプロバイダの迷惑メール対策（OP25B）によって宅外から接続できなくなる場合があります。
  SMTP認証をおこなうことを強く推奨します。
  迷惑メール対策（OP25B）の有無など詳細については、プロバイダにご確認ください。

参照

・OP25B→付録の用語集（p.124）

メール設定の情報について詳しくは、プロバイダのホームページやプロバイダから送られてきた書類などを参照してください。

①	メールアドレス	Webメール、フリーメール、広告が挿入されるメールなどは使用できません。
②	SMTPサーバ	プロバイダによっては「送信メールサーバ」や「メールサーバ」などと記載されている場合があります。
③	ポート番号	N-08Bを宅外から接続するためには、SMTP認証を使用する設定に合わせたポート番号を設定する必要があります（通常は587です）。25番ポート設定の場合、プロバイダの迷惑メール対策（OP25B）により宅外から利用できない場合があります。
④	POPサーバ	プロバイダによっては「受信メールサーバ」や「メールサーバ」などと記載されている場合があります。
⑤	ポート番号	POPサーバのポート番号を入力してください（通常は110です）。
⑥	POPアカウント	プロバイダによっては「アカウント名」、「受信メールサーバアカウント」、「ユーザー名」、「メールアカウント」などと記載されている場合があります。
⑦	POPパスワード	プロバイダによっては「パスワード」、「受信メールサーバパスワード」、「メールパスワード」などと記載されている場合があります。
⑧	メール送信時に認証機能を使用する	認証機能を使用しないと、プロバイダの迷惑メール対策（OP25B）により、宅外から利用できない場合があります。
⑨	SMTP認証を使用する	認証方式のひとつです。こちらを選択することをおすすめします。
⑩	SMTP認証アカウント	プロバイダによっては「アカウント名」、「ユーザー名」、「メールアカウント」などと記載されている場合があります（プロバイダによってはPOPアカウントと同じ場合があります）。
⑪	SMTP認証パスワード	プロバイダによっては「パスワード」、「メールパスワード」などと記載されている場合があります（プロバイダによってはPOPパスワードと同じ場合があります）。
⑫	POP before SMTPを使用する	認証方式のひとつです。こちらを利用しても宅外から利用できない場合があります。SMTP認証を使用してください。SMTP認証を使用する場合は使用できません。
⑬	APOPを使用する	プロバイダのPOPサーバがAPOPに対応している場合のみ使用可能です。

チェック

- Webメールやフリーメール、広告が自動挿入されてメール件名や本文が書き替わるメールは使用できません。

9 「メール送受信テストをおこなう。」が☑になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

「メール送受信テスト中」と表示されます。

テスト結果がOKの場合は、手順12の画面が表示されます。

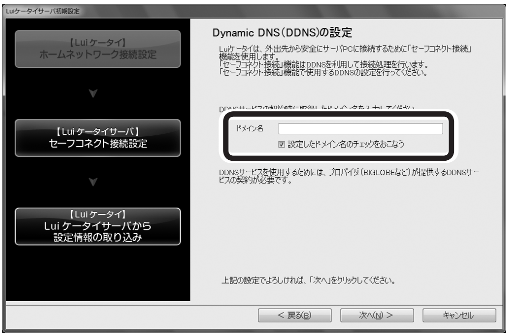
テスト結果がNGとなったときは、電子メールの設定を見直してください。

チェック

- SMTPのポート番号を「587」以外に設定していた場合、設定の変更を促す画面が表示されます。ポート番号を「587」以外に設定する場合は「いいえ」をクリックし続行してください。ただし、プロバイダの迷惑メール対策(OP25B)により宅外から利用できない場合があります。

10 DDNSの設定画面が表示された場合は、DDNSサービスの契約時に取得したドメイン名を入力する

本画面は、手順7で「外出先で使用(接続処理にDynamic DNSを使用)」を選択した場合に表示されます。手順7で「外出先で使用(接続処理に電子メールを使用)」を選択した場合、本画面は表示されませんので、手順12へ進んでください。



11 「設定したドメイン名のチェックをおこなう」が☑になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

テスト結果がOKの場合は、手順12の画面が表示されます。

テスト結果がNGとなったときは、エラーメッセージが表示されます。

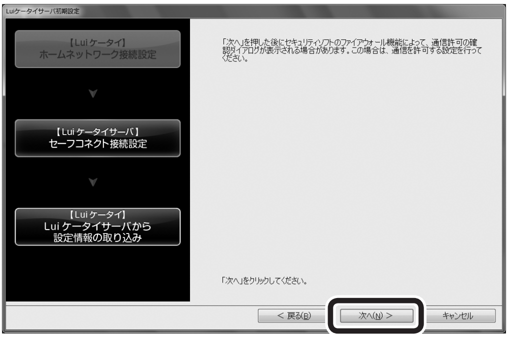
以下の設定を確認してください。

- ・ ドメイン名が正しく設定されているか
- ・ ルータのグローバルIPアドレスがDDNSサービスに登録されているか（※１）
- ・ ルータのUPnP機能が有効になっているか

※1：グローバルIPアドレスの登録、更新方法はDDNSサービスのマニュアルなどを参照してください。
アドレス登録後、DNSデータベースに反映されるまで時間がかかる場合があります。

12 セキュリティソフトのファイアウォール機能での通信許可の確認が表示された場合は、「次へ」をクリックする

「次へ」をクリック後、通信許可の確認画面が表示された場合は、このPARTの「セキュリティソフトの設定について」（p.62）をご覧になり、通信許可に設定してください。



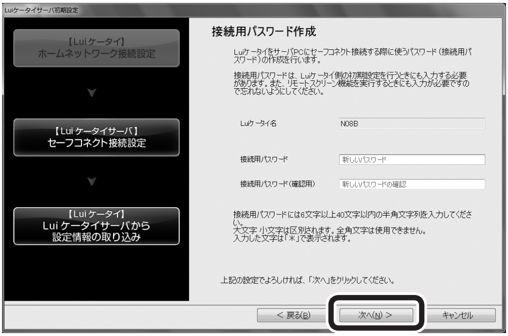
「現在通信可能なLuiケータイが見つかりません。」と表示された場合は、「N-08Bのネットワーク設定をおこなう」（p.29）、または「N-08Bから「サーバ接続設定」を起動する」（p.43）の手順が正しくおこなわれていない可能性があります。もう一度最初から初期設定をおこなってください。

13 Lui機能でサーバPCとN-08Bを接続するときの接続用パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

ここで設定した接続用パスワードは、リモートスクリーン接続時に必要になるので、メモを取っておいてください。

メモ

- 接続用パスワードには6文字以上40文字以内の半角英数字、半角記号が使用できます。全角文字や半角カタカナは使用できません。英字は大文字と小文字の区別をします。入力された文字は「＊」で隠されて表示されます。



サーバPCとN-08Bの間で自動で通信が開始されます。

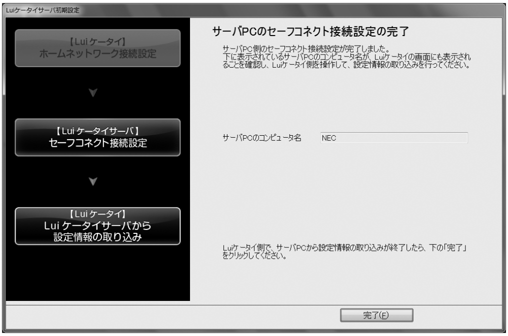
サーバPCに「同期通信中」と表示された場合は、しばらくして表示される注意文を参考の上、操作してください。

設定が終わると、完了の画面が表示されます。

14 ［サーバPCのセーフコネクト接続設定の完了］画面が表示されたら、「サーバPCのコンピュータ名」がN-08Bの画面にも表示されていることを確認する

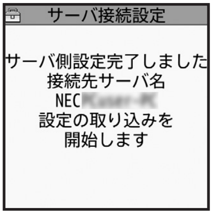
ここではまだ「完了」ボタンをクリックしないでください。
N-08B側で、サーバPCからの設定情報の取り込み終了（p.56）後に「完了」ボタンをクリックします。

サーバPCの画面はそのままにして、「サーバPCの設定情報をN-08Bに取り込む」（p.56）へ進み、N-08BにサーバPCの設定情報を取り込みます。



サーバPCの設定情報をN-08Bに取り込む

N-08BにサーバPCの設定情報を取り込みます。取り込み操作はN-08Bからおこないます。
サーバPCでの設定が終わると、N-08Bに「サーバ側設定完了しました」と表示されます。



1 N-08BのEnter[開始]を押す

2 サーバPCに接続するパスワードを入力する

Enter[選択]を押すと、パスワードを入力できます。入力が終わったらFn2[確定]を押します。

メモ

・ 初期設定で設定した接続用パスワードを入力します。→p.54

3 パスワードが入力されたことを確認し、Fn2[確定]を押す

「サーバ側設定を取り込んでいます」と表示されます。

パスワードを忘れてしまったときは「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

4 「サーバ側設定完了しました」と表示されたら、Enter[完了]を押す

N-08BにLui機能画面が表示されます。

5 サーバPCに戻り、「サーバPCのセーフコネクト接続設定の完了」画面で[完了]をクリックする

チェック

・ 初期設定は、ユーザごとの登録ではなく、サーバPC ／ N-08Bの組み合わせごとに登録をおこないます。
そのため同一のWindowsユーザ名であっても、異なるN-08Bを使用する場合は使用するN-08Bごとに初期設定を実施する必要があります。
・ サーバPCが他のN-08Bからリモートスクリーン接続されている間は、N-08BからサーバPCに接続することができません。
・ N-08Bに登録が可能なサーバPCは1台です。
・ サーバPCに登録が可能なN-08Bは8台です。

これで、初期設定は完了です。
N-08Bの画面はそのままにして、「宅内で接続の確認をする」（p.58）へ進んでください。

初期設定のやりなおしについて

次のような場合は、初期設定のやりなおしが必要です。

・ 初期設定後、次のいずれかに該当した場合、PART4の「初期設定をやりなおす」（p.99）をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
- N-08Bの使用環境や名前を変更したい
- 接続用パスワードを忘れた
- サーバPCのコンピュータ名を変更した
- サーバPCのユーザアカウントを変更した
- サーバPCのユーザアカウントのパスワードを変更した
- Dynamic DNSで接続した場合に「Luiケータイサーバ設定」-「ネットワーク設定」-「高度な設定」-「ポート設定」（p.95）で、セーフコネクトやリモートスクリーンのポートを手動で設定した

宅内で接続の確認をする

初期設定が完了したら、宅内でのリモートスクリーン接続の確認をしてみましょう。

1 N-08BのLui機能で「リモートスクリーン」を選択する

2 [映像・音声のご注意]画面が表示されたら、注意事項を確認して Fn 3 [はい]を押す

↓ で内容をスクロールしないと、Fn 3 [はい]ボタンは有効となりません。

3 [パケット料金のご注意]画面が表示されたら、注意事項を確認して Fn 3 [はい]を押す

画面3/3ページの「注意事項の詳細」を反転した状態で Enter [選択]を押すと、サイトに接続し、料金に関する詳細内容を確認できます（別途パケット通信料がかかります）。

↓ で内容をスクロールしないと、Fn 3 [はい]ボタンは有効となりません。

4 [設定のご注意]画面が表示されたら、注意事項を確認して Enter [OK]を押す

↓ で内容をスクロールしないと、Enter [OK]ボタンは有効となりません。

5 サーバPCに接続するパスワードを入力する

Enter [選択]を押すと、パスワードを入力できます。入力が終わったら Fn 2 [確定]を押します。

6 パスワードが入力されたことを確認し、Fn 2 [確定]を押す

サーバPCに接続すると、N-08BにサーバPCの画面が表示されます。



チェック

・ サーバPCやN-08Bがネットワークに接続されていないと、この画面が表示されません。その場合、PART1の「ホームネットワークの準備」をご覧になり、ネットワークの接続を確認してください。

7 接続の確認が終わったら、[━]を押す

8 「リモートスクリーン画面を終了します よろしいですか？」と表示されるので「YES」を選択して[Enter]を押す

リモートスクリーンが終了し、待受画面に戻ります。

チェック

・ リモートスクリーン接続後、N-08Bで音が鳴らず、サーバPCで音声が再生される場合は「N-08BでサーバPCの音声が再生されないときは」(p.74)を参照してください。また、音声を再生した状態でリモートスクリーンを終了すると、サーバPCで音声が再生されることがあります。
・ リモートスクリーン接続中は、サーバPCで操作をおこなうことはできません。サーバPC側から操作をおこないたい場合は「サーバPCでの切断方法」(p.90)を参照してください。
・ Wi-Fiネットワークでのリモートスクリーン接続中に、同時にBluetooth機器を利用すると、音切れが発生することがあります。

使用環境の設定(p.48)で「外出先で使用」を選択した場合は、「FOMAネットワークの接続先を設定する」(p.60)へ進んでください。
使用環境の設定(p.48)で「宅内のみで使用」を選択した場合は、PART3の「リモートスクリーンを使う」へ進んでください。

FOMAネットワークの接続先を設定する

宅外からFOMAネットワークでLui機能を利用する場合、利用するアクセスポイントの種類により、必要となるサービスや接続先の設定が異なります。

チェック

- 宅外からFOMAネットワークでLui機能を利用する場合、mopera Uなどの対応プロバイダとのご契約が必要です。
- FOMAネットワークでLui機能を利用する場合は「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となり、データ量の多い通信を行うと、通信料が高額になる場合がありますので、以下の定額制サービスへのご契約を強くおすすめします。
  - 「パケ・ホーダイ ダブル」または「パケ・ホーダイ シンプル」

● mopera Uのスマートフォン定額対応アクセスポイント(mopera U sp_flat)を利用する場合

「パケ・ホーダイ ダブル」または「パケ・ホーダイ シンプル」へのご契約が必要で、さらにご利用のFOMAカードにてmopera Uとのご契約が必要となります。
「mopera U sp_flat」(初期値)の設定のままでよいため、以降の「接続先を新規に作成するには」(p.61)の設定をおこなう必要はありません。

● mopera Uの従量アクセスポイントもしくは、他プロバイダのアクセスポイントを利用する場合

mopera Uなどのプロバイダとのご契約が必要です。また、「パケ・ホーダイ ダブル」または「パケ・ホーダイ シンプル」へのご契約を強くおすすめします。
以降の「接続先を新規に作成するには」(p.61)の手順にて、新たに接続先を作成してください。設定内容については、プロバイダにご確認の上、情報を入力してください。

接続先を新規に作成するには

1 MENU→「便利ツール」→「Lui機能」→「Lui設定」→「機能設定」→「個別設定」→「接続先設定」を選択する

接続先の一覧が表示されます。

2 接続先を選択（反転）した状態で、Fn 2 [編集] を押す

「接続先××（cid××）」のどれかを選択してください。

3 端末暗証番号を入力し、Enter [確定] を押す

4 接続先名称、接続先番号、ユーザID、パスワードの各項目を編集する

各項目を選択（反転）した状態でEnter [選択]を押すと、編集できます。編集が終わったらFn 2 [確定]を押します。

5 すべての項目の編集が終わったらFn 2 [完了] を押す

チェック

- 接続先番号には、「bizho.net」を含む文字列は入力できません
- 接続先の初期値として、スマートフォン定額対応アクセスポイントの「mopera U sp_flat」が登録されています。「mopera U sp_flat」の接続先番号を編集することはできません。
- PCメールやアクセスポイントモードの「接続先設定」を変更しても、Lui機能の「接続先設定」は変更されません。

セキュリティソフトの設定について

ファイアウォールについて

N-08Bを外出先から使うとき、インターネットを介して自宅のサーバPCに接続します。そのため、ほかの不正なアクセスは防ぎながら、N-08BからのサーバPC接続だけを許可するセキュリティの設定が必要になります。

外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能を「ファイアウォール」といいます。「ファイアウォール」は、Windowsやセキュリティソフトに搭載されています(ウイルス対策ソフトなど、ファイアウォール機能を搭載していないものもあります)。

Windowsファイアウォール以外のセキュリティソフトをお使いの場合は、次の「ファイルアクセス許可の設定」をご覧になり、設定をおこなってください。
Windowsファイアウォールをお使いの場合は、「ファイルアクセス許可の設定」が自動的におこなわれるため、設定する必要はありません。

チェック

・ファイアウォールのソフトを2つ以上同時に使うと干渉し合ってうまく働かないことがあります。パソコンにWindowsファイアウォールとその他のファイアウォールのソフトがインストールされている場合も、どちらかを選んで使用してください。
・ファイアウォールのソフトをアップデートした場合、再度ファイルアクセス許可の設定が必要となる場合があります。

ファイルアクセス許可の設定

ご使用になる前に、次のファイルアクセスを許可してください。

■サーバPC

C:¥Program Files¥NCmobile¥LuiKeitaiServerフォルダ内(※1)

・ pcrservice_m.exe
・ pcrsvinitset_m.exe
・ pcrsvmgr_m.exe
・ pcrsvset_m.exe
・ RRS_m.exe

※1: サーバPCのOSが「Windows 7 64ビット版」の場合は、次のようになります。
C:¥Program Files (x86)¥NCmobile¥LuiKeitaiServerフォルダ内

C:¥Program Files¥NCmobile¥SafeConnectServer_m¥binフォルダ内(※2)

・ ipresolve_sv_m.exe
・ screlayd_m.exe
・ scsvfrm_m.exe
・ ScSvGUI_m.exe
・ scsvinit_m.exe
・ scsvlog_m.exe
・ scsvmailer_m.exe
・ scsvsetm_m.exe

※2: サーバPCのOSが「Windows 7 64ビット版」の場合は、次のようになります。
C:¥Program Files (x86)¥NCmobile¥SafeConnectServer_m¥binフォルダ内

設定方法については、セキュリティソフトのマニュアルなどを参照してください。

PART

3

リモートスクリーンを使う

このPARTでは、リモートスクリーン方式でサーバPCに接続する方法について説明しています。

準　備 ▶ 初期設定 ▶ 利　用

リモートスクリーンを使う

リモートスクリーンは、サーバPCのデスクトップ環境をN-08Bで遠隔操作する機能です。

リモートスクリーンを利用する前に

- ホームUをご利用中の場合、ホームUエリア内でホームネットワーク接続（Wi-Fi接続）によるリモートスクリーンはご利用できません。
- ホームUエリア内でWi-Fi接続によるリモートスクリーンを利用する場合は、あらかじめWi-Fiの接続先を設定しておく必要があります。→p.31
- ホームUエリア内でリモートスクリーンを利用する場合は、ホームU接続先以外の接続先に変更されるため、音声電話やメールなどをホームUで利用することはできません。
- 宅外から接続する場合は、あらかじめN-08B、サーバPCがインターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- サーバPCで複数のネットワークアダプタが接続状態（IPアドレスが割り当てられている）である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。
- N-08BからリモートスクリーンでサーバPCへ接続している間、サーバPCの画面はN-08BとサーバPCのディスプレイに出力されますが、サーバPC側で操作することはできません。
- サーバPCに同時に接続できるN-08Bは1台のみです。
- サーバPCのBD/DVD/CDドライブにブルーレイディスクやDVDが挿入されている場合、N-08BからサーバPCに接続することができません。
- 地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送や、その録画番組は、リモートスクリーンで視聴できません。
- N-08B からリモートスクリーン接続すると、サーバ PC の画面解像度は、N-08B の「Lui 設定」-「機能設定」-「個別設定」-「解像度」（p.93）で設定した WXGA（1280×768）、XGA（1024×768）、SVGA（800×600）のいずれかに切り替わります。
  なお、サーバ PC の解像度が WXGA、XGA、SVGA のいずれにも対応していない場合、リモートスクリーンはご利用できません。
- リモートスクリーンは、国際ローミングでのご利用はできません。

サーバPCの電源について

N-08Bからリモートスクリーン接続するとき、サーバPCは起動したままにしておいてください。サーバPCの電源が切れていたり、休止状態やスリープ状態になっていると、N-08Bから接続できません。
休止状態やスリープ状態を無効にするには、サーバPCのマニュアルをご覧ください。

遠隔起動(WoL(Wake on LAN))機能について

サーバPCが遠隔起動(WoL(Wake on LAN))機能に対応している場合、市販のWoL対応ルータを利用して、N-08BからサーバPCの電源を入れることができます。
WoL機能でサーバPCの電源を入れた後、リモートスクリーン接続の操作をおこないます。

WoLを利用するには、DDNSサービスの契約が必要になる場合があります。必要な契約については、対応ルータのメーカにお問い合わせください。

参照

・DDNS→付録の「用語集」(p.124)

お使いのサーバPCがWoLに対応しているかどうかや利用方法については、サーバPCのマニュアルをご覧ください。
WoLを利用できるルータ製品については、ルータのメーカにお問い合わせください。

N-08Bをネットワークに接続する

宅内で利用する場合はホームネットワークに接続してください。
N-08Bの画面上部に「Wi-Fi」が表示されていたら、ホームネットワークに接続されています。

宅外から利用する場合は、公衆無線LANやFOMAネットワークなどを利用してN-08Bをインターネットに接続してください。
公衆無線LANからWi-Fi接続するときはN-08Bの画面上部に「Wi-Fi」が表示されていることを確認し、FOMA接続するときはN-08Bの画面上部に「Yıll」が表示されていることを確認してください。

Lui機能はネットワーク経由で画面を転送し、遠隔操作を実現しているため、ネットワーク回線の通信速度が遅いと、操作性が悪くなる場合があります。
また、リモートスクリーン中の電波の状態は、機能メニュー(p.78)を表示すると、画面左上に表示されます。

チェック

- 外出先などでは高品位の通信環境を確保することが難しく、状況によっては表示画質や操作性が損なわれることがあります。
- Lui機能の表示画質や操作性が悪くなるのは次のようなケースです。
  - 無線の電波が弱いときや電波が届かないとき。あるいは、たくさんの電波が飛んで混雑しているとき。
  - たくさんの無線機器が同時に接続しているとき。
  - 通信速度が遅い回線や、通信に遅延のある回線に接続しているとき。
  - 新幹線など、高速で移動しているとき。

  表示画質や操作性が悪くなったときの対処方法については、このPARTの「使用状況に応じた対処方法」(p.77)をご覧ください。
- Bluetoothの登録機器リストに登録している状態で、Wi-Fiネットワークにて Lui機能の初期設定やリモートスクリーン接続をおこなうと、正常に通信できないことがあります。
  MENU→「便利ツール」→「Bluetooth」→「登録機器リスト」で登録リストを確認してください。
  Bluetooth機器登録状態で、Wi-Fi接続での初期設定やリモートスクリーン接続ができない場合は、以降の「Bluetooth機器登録状態でWi-Fiでの初期設定やリモートスクリーン接続ができないときは」をご覧ください。
- Wi-FiとBluetoothを同時に利用すると、音切れが発生することがあります。回線レベル(p.80)を「レベル2」に、画面モードを「MOVIEモード」(p.83)に変更すると改善される場合があります。
- FOMA接続でBluetooth機器を利用している際に、FOMA音声電話の着信があると、音切れが発生することがあります。

Bluetooth機器登録状態でWi-Fiでの初期設定やリモートスクリーン接続ができないときは

●初期設定できない場合

1 N-08Bから[MENU]→「便利ツール」→「Bluetooth」を選択する

Bluetooth画面が表示されます。この画面の項番③が「Bluetoothオフ」となっている場合、これを選択して電源オフを実行してください。

「Bluetoothオン」となっている場合は、次へ進んでください。

2 N-08Bから[MENU]→「便利ツール」→「Bluetooth」→「登録機器リスト」を選択する

登録機器リスト画面が表示されます。

3 Bluetooth機器にカーソルを合わせ、サブメニューの「登録機器削除」を選択し、Bluetooth機器の登録を削除する

登録機器リスト画面にて1つずつBluetooth機器にカーソルを合わせ、[Fn][1]を押してサブメニューを表示し、「登録機器削除」の選択を繰り返して、すべてのBluetooth機器の登録を削除してください。

4 「PART2 初期設定」をご覧になり、初期設定をおこなう

初期設定が終わったら、再びBluetooth機器を登録し、リモートスクリーン接続をおこなってください。

●リモートスクリーン接続できない場合

1 N-08Bから[MENU]→「便利ツール」→「Lui機能」→「リモートスクリーン」を何度かおこなう

[Lui機能]画面を起動する

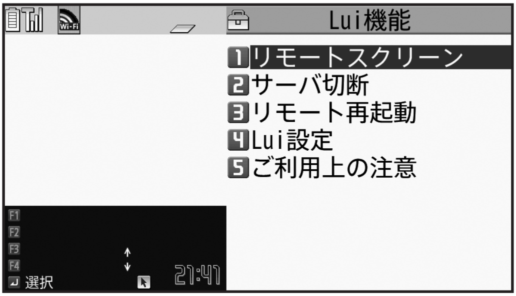
[Lui機能]画面から、リモートスクリーンに関する操作や設定をおこなうことができます。

1 MENU→「便利ツール」→「Lui機能」を選択する

[Lui機能]画面が表示されます。

リモートスクリーン利用中に[Lui機能]画面を表示するには、Fn Escを押します。
リモートスクリーンは終了しますが、サーバとの接続は継続したままとなります。
[Lui機能]画面で「リモートスクリーン」を選択すると、サーバPCの画面に切り替わります。

[Lui機能]画面



リモートスクリーン	サーバPCとリモートスクリーン接続し、リモート操作します。
サーバ切断	サーバPCとの接続を切断します。
リモート再起動	サーバPCを再起動します。
Lui設定	Lui機能の設定をします。 一部の項目は、サーバPC接続中に設定できません。その場合は、いったんサーバPCとの接続を切断してください。 参照 ・設定について→PART4の「設定を変更する」(p.92)
ご利用上の注意	Lui機能を利用する際の注意事項を確認できます。

チェック

・ サーバ切断、リモート再起動は、サーバPCと接続している状態のときに利用できます。

サーバPCへ接続する

以下の手順で、サーバPCへ接続し、リモートスクリーンを開始します。

チェック

・ ブルーレイディスクやDVDがサーバPCのBD/DVD/CDドライブに挿入されているときはサーバPCに接続できません。BD/DVD/CDドライブからブルーレイディスクやDVDを取り出してから接続してください。

1 ［Lui機能］画面で「リモートスクリーン」を選択する

2 ［映像・音声のご注意］画面が表示されたら、注意事項を確認して Fn 3［はい］を押す

↓で内容をスクロールしないと、Fn 3［はい］ボタンは有効となりません。

3 ［パケット料金のご注意］画面が表示されたら、注意事項を確認して Fn 3［はい］を押す

画面3/3ページの「注意事項の詳細」を反転した状態でEnter［選択］を押すと、サイトに接続し、料金に関する詳細内容を確認できます（別途パケット通信料がかかります）。

↓で内容をスクロールしないと、Fn 3［はい］ボタンは有効となりません。

4 ［設定のご注意］画面が表示されたら、注意事項を確認してEnter［OK］を押す

↓で内容をスクロールしないと、Enter［OK］ボタンは有効となりません。

5 サーバPCに接続するパスワードを入力する

Enter［選択］を押すと、パスワードを入力できます。入力が終わったらFn 2［確定］を押します。

6 パスワードが入力されたことを確認し、Fn 2［確定］を押す

接続パスワードを変更後、初めて接続する場合は、「接続パスワードを変更後初めて接続する」にチェックを入れてください。

サーバPCに接続すると、N-08BにサーバPCの画面が表示されます。

チェック

・ 接続完了後にサーバPCの画面がN-08Bに表示されるまで時間がかかる場合があります。

・ FOMAネットワークでLui機能を利用する場合は「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となり、データ量の多い通信を行うと、通信料が高額になる場合がありますので、以下の定額制サービスへのご契約を強くおすすめします。

　・「パケ・ホーダイ ダブル」または「パケ・ホーダイ シンプル」

メモ

ホテルや公衆無線LANから接続する場合

ホテルや公衆無線LANからの接続では、専用の認証(ログイン)が必要な場合があります。あらかじめ、認証(ログイン)を実施し、接続できることを確認した後、ご利用ください。

チェック

- 宅外からインターネット経由で接続する場合
  - 電子メールを使用している場合、サーバPCとN-08Bの間でメールのやりとりをおこない、接続処理をおこないます。そのため、接続が完了するまで数分かかる場合があります。
  - 宅外のネットワークが混雑している場合、遅延に応じて操作の反応時間が遅くなります。

参照

・接続時の画質について→このPARTの「画質の調節」(p.82)

サーバPC接続中の画面について

サーバPCに接続すると、N-08BにサーバPCの画面が表示されます。
お買い上げ時の状態では、画面の解像度は1280×768で表示されます。

参照

・解像度の変更について→PART4の「■個別設定」(p.93)

チェック

- サーバPCの状態、またはネットワーク回線の状態によっては、接続に失敗することがあります。その場合は、再度接続してください。



リモートスクリーン画面
(サーバPCの画面)

リモートスクリーンでおこなう基本操作

ここではリモートスクリーンでおこなうN-08Bの基本操作について説明します。
このほかの操作については、このPARTの「リモートスクリーンの各種機能について」(p.78)および付録の「ボタン操作一覧」(p.119)をご覧ください。

Windowsでのマウス操作と同様の操作をするには

下記操作により、Windowsでのマウス操作と同様の動作が可能です。
ただし、リモートスクリーン接続中は、サーバPCの画面にマウスカーソルのアニメーション(バックグラウンドで作業中など)、影などは表示されません。またマウスカーソルが大きく表示されることがあります。

N-08Bでの操作	動作説明
スティックポインタ	サーバPCのマウスカーソルの移動
左サイドボタン	マウスの左クリック
右サイドボタン	マウスの右クリック

音量を調節するには

リモートスクリーン接続をおこなうと、N-08BでサーバPCの音声が再生されます。下記操作で音量の調節をおこなってください。

N-08Bでのボタン操作	動作説明
Fn U	音量を0(無音)にする
Fn O	音量+1
Fn I	音量−1

チェック

- リモートスクリーン接続後、N-08Bで音が鳴らず、サーバPCで音声が再生されることがあります。その場合は、以降の「N-08BでサーバPCの音声が再生されないときは」をご覧になり、設定をおこなってください。
- マナーモード中は音を出力するかどうかの確認メッセージが表示され、イヤホン装着時はイヤホンから音を出力します。
- リモートスクリーン中のBluetooth音声出力に対応していますが、Wi-FiとBluetoothを同時に利用すると、音切れが発生することがあります。回線レベル(p.80)を「レベル2」に、画面モードを「MOVIEモード」(p.83)に変更すると改善される場合があります。
- FOMA接続でBluetooth機器を利用している際に、FOMA音声電話の着信があると、音切れが発生することがあります。

N-08BでサーバPCの音声が再生されないときは

リモートスクリーン接続をおこなうと、N-08BでサーバPCの音声が再生されるようにサーバPCのサウンドデバイスの設定を自動的に変更します。リモートスクリーン接続後、N-08Bで音が鳴らない場合は、N-08Bの音量が小さくなっていないかを確認してください。音量を調整しても音が鳴らない場合は、N-08Bで以下の手順をおこなってください。

1 **リモートスクリーン接続後に表示される［Luiケータイサーバの音声について］画面で「サウンド設定」ボタンをクリックする**

サウンドの「再生」タブ画面が表示されます。

> **メモ**
>
> ・［Luiケータイサーバの音声について］画面を閉じている場合は、「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「サウンド」→「再生」タブをクリックして起動します。

2 **デバイス一覧に表示されている「Luiケータイ　リモートスクリーン音声再生用」を右クリックし、表示されたメニューで「既定のデバイスとして設定」をクリックする**

3 **「OK」をクリックする**

> **チェック**
>
> ・お使いの再生デバイスの設定を手動で変更した場合、リモートスクリーン終了後に、サーバPCにて、サウンドの「再生」タブ画面に表示されるサーバPCで使用中のスピーカーを右クリックし、「既定のデバイスとして設定」を選択して、お使いの再生デバイスの設定に戻してください。

リモートスクリーン中に［Lui機能］画面を表示するには

【Fn】【Esc】を押します。

> **チェック**
>
> ・Lui機能から「リモートスクリーン」を選択したときに「リモートスクリーン画面の表示に失敗しました」と表示される場合があります。その場合、しばらくたってから再度選択してください。

リモートスクリーンの終了

リモートスクリーンを終了すると、サーバPCとの接続を切断し、待受画面へ戻ります。

1 リモートスクリーン中に[━]を押す

2 「リモートスクリーン画面を終了します よろしいですか？」と表示されるので「YES」を選択して[Enter]を押す

リモートスクリーンを終了し、待受画面へ戻ります。

チェック

- Windows Media Playerなどで音楽ファイルや動画ファイルを再生中にリモートスクリーンを終了しないでください。リモートスクリーンを終了する前に、Windows Media Playerなどを終了してください。
- 音声再生中にリモートスクリーンを終了すると、サーバPCで音声が再生されることがあります。

サーバPCを切断する

サーバPCとの接続を切断する場合は次の手順でおこなってください。

1 リモートスクリーン中に[Fn][Esc]を押す

[Lui機能]画面が表示されます。

2 「サーバ切断」を選択する

「サーバとの接続を切断します よろしいですか？」と表示されます。

3 「YES」を選択する

サーバPCとの接続が切断されます。

サーバPCを再起動する

サーバPCを再起動するには次の手順でおこなってください。

1 リモートスクリーン中に【Fn】【Esc】を押す

[Lui機能]画面が表示されます。

2 「リモート再起動」を選択する

「サーバを再起動します よろしいですか？」と表示されます。

3 「YES」を選択する

「再度接続する場合はしばらくしてからLui機能を開始してください」と表示されます。

4 「OK」を選択する

サーバPCとの接続が切断されます。

使用状況に応じた対処方法

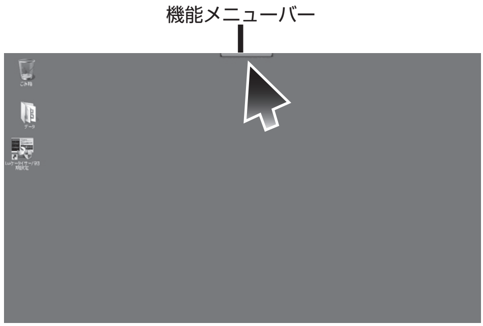
操作性が良好でないときは、使用状況に応じて画面モードや回線レベルの設定を切り替えてみてください。

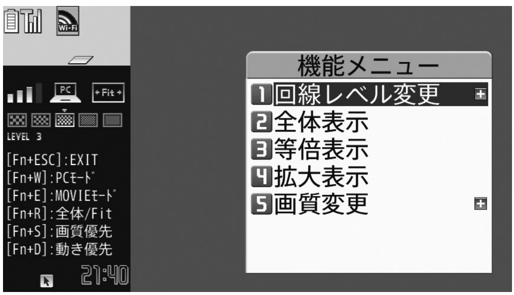
こんなときには	対処法
動画や音楽を視聴したいとき	動画の再生を優先する「MOVIEモード」に切り替えてください(p.83、p.121)。 画面のかくつきや音の途切れを抑えて、映像をなめらかに再生します。ただし、PCモードに比べて反応速度は低下します。
文字や図形の中心の編集・閲覧をしたいとき	操作のレスポンスを優先する「PCモード」に切り替えてください(p.83、p.121)。 文書の編集などの操作に適しています。ただし、MOVIEモードに比べて映像や音声のずれが起こりやすくなります。
操作性・画質が悪いとき	以下の設定を変更してください。 ①回線レベルを下げる(p.79、p.120) 適切な回線レベルを設定し、快適な操作をおこなえるように調整してください。 操作のレスポンスが悪かったり、画面のかくつきや遅延があるときは、回線レベルを「1」に変更して、その後、操作状況を確認しながらレベルを1つずつ上げて調整してください。 ②「画質優先」「動き優先」を変更する(p.83、p.122) 使用する目的にあわせてどちらを優先させるかを調整してください。 画質を優先させると文字のにじみをなくすことができますが、操作のレスポンスが低下します。また、動きを優先させると操作のレスポンスは高くなりますが、画質が低下します。

リモートスクリーンの各種機能について

機能メニューについて

リモートスクリーン接続中の画面上部に、機能メニューバーが表示されます。
機能メニューバーにカーソルを置くと、機能メニューが表示されます。





項目名	説明
回線レベル変更	レベル1 ～レベル4に設定します。レベル4が最も高速となります。→p.80 使用環境に応じて選択してください。
全体表示	サーバPCの画面をN-08Bの画面サイズにおさまるように自動で拡大縮小し表示します。→p.81
等倍表示	サーバPCの画面をN-08Bの画面サイズ分に切り出し、拡大縮小せずに表示します。→p.81
拡大表示	サーバPCの画面を一定サイズ分に切り出し、縦横2倍に拡大して表示します。→p.81
画質変更	レベル1 ～レベル5に設定します。レベル値が小さいほど動き優先、大きいほど画質優先となります。

機能メニューを閉じるには CLR を押します。

チェック

・ 回線レベルを低く設定すると、画像の情報量が下がるため、細かい文字が多い画面を閲覧する際は文字がつぶれて見づらくなる場合があります。

画面左エリアに表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	回線レベルの状態を４段階で表示します。 （左記はレベル2の状態を示します）
	左：PCモードのときに表示されます。 右：MOVIEモードのときに表示されます。
	左：全体表示のときに表示されます。 中央：等倍表示のときに表示されます。 右：拡大表示のときに表示されます。
	画質レベルの状態を5段階で表示します。 （左記はレベル3の状態を示します）

回線レベル

リモートスクリーンに接続中の回線レベルを変更できます。ご使用になっている回線の速度（ネットワークの帯域）に応じて回線レベルの変更をおこなってください。各回線レベルの回線速度の目安は次の表を参考にしてください。表の値は、参考値であり、PCモード/MOVIEモード、画質優先／動き優先の設定によって、必要となる回線速度は異なります。

回線レベル	回線速度の目安
レベル4	7Mbps以上
レベル3	6Mbps以上
レベル2	2Mbps以上
レベル1（音なし）	1.7Mbps以上

参照

・回線レベルの変更方法→PART3の「機能メニューについて」（p.78）

チェック

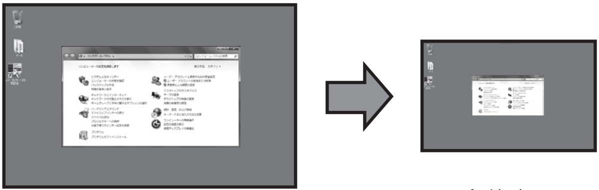
- 回線レベルを1に設定すると、音声が再生されなくなります。テキスト編集など、音声再生が不要な操作の場合にご利用ください。
- FOMAネットワーク利用時は回線レベル2 ～ 1を、Wi-Fiネットワーク利用時は回線レベル4 ～ 1を目安に設定してください。初期値はレベル3になっています。
- 回線レベルは、回線の速度（ネットワークの帯域）のほかに、サーバPCのパソコンの性能や、サーバPCで同時に使用しているアプリケーションによっても影響を受けることがあります。回線レベルを低く設定することで、画面のかくつきなどが改善される場合があります。
- 回線レベルの設定値は、通信の切断後にも保存されています。
- 回線レベルを変更しても、ネットワークの通信速度のゆらぎ（一定でない）によって操作しづらくなることがあります。

画面表示

全体表示

サーバPCの画面をN-08Bの画面サイズにおさまるように自動で拡大縮小し表示します。

サーバPC画面　　　　N-08B画面

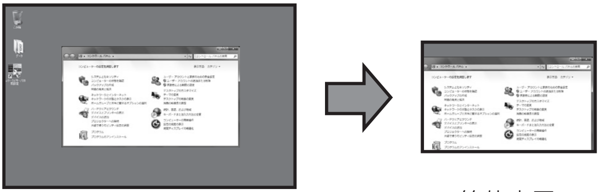


全体表示

等倍表示

サーバPCの画面をN-08Bの画面サイズ分に切り出し、拡大縮小せずに表示します。

サーバPC画面　　　　N-08B画面

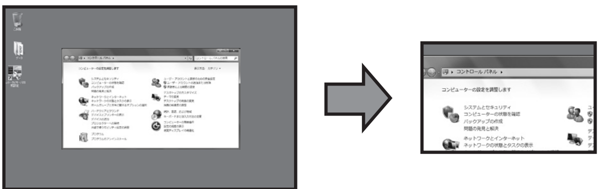


等倍表示

拡大表示

サーバPCの画面を一定サイズ分に切り出し、縦横2倍に拡大して表示します。

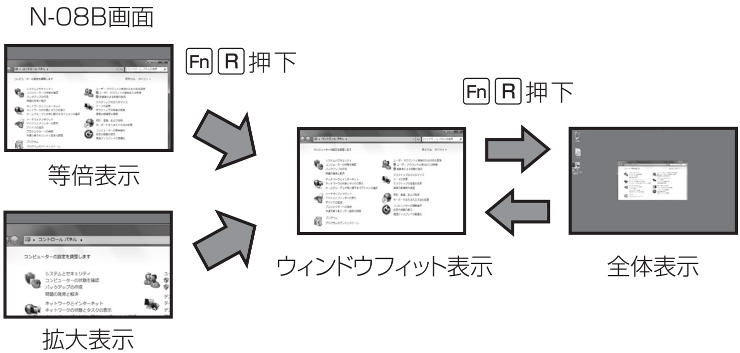
サーバPC画面　　　　N-08B画面



拡大表示

ウィンドウフィット表示

等倍表示のときに、サーバPCで表示しているアクティブ状態となっているソフトのウィンドウサイズをN-08Bの画面に最適な大きさで表示する機能です。切り替えはFn Rを押しておこないます。
ウィンドウフィット表示のときにFn Rを押すと、全体表示となり、もう一度Fn Rを押すとウィンドウフィット表示に戻ります。
また、ウィンドウフィット表示にて画面をスクロールすることもできます。スクロールすると、ウィンドウフィット表示は解除され、等倍表示となります。



チェック

- ソフトによってはウィンドウサイズを変更できないことがあります。画面上のボタンが隠れるなどでソフトの操作ができなくなった場合は、Alt＋Fn 4を押して、ソフトを一度終了させてから、再度ソフトを再起動してください。
- ソフトによっては、動作に支障をきたすことがあります。ウィンドウフィット表示の状態から全画面表示や最大化をおこなうと、サーバPCの画面上で最大化されるためにソフトのウィンドウがN-08Bの画面からはみ出ることがあります。

画質の調節

N-08Bへ送信する画像や音声は、ネットワークの速度設定に合わせて圧縮して送信します。ネットワークの速度が遅い環境では、より情報量を下げて送信するため、ネットワークの速度が速い環境でご使用されるときに比べて画質や音質が劣ります。
ご利用方法に合わせて、画面モードの変更、画質優先／動き優先の調節をおこなってください。

画面モード

PCモードへの切り替えは[Fn][W]で、
MOVIEモードへの切り替えは[Fn][E]でおこないます。

■PCモード

画像の鮮明さとN-08Bを操作するときのレスポンスを重視するモードです。文書作成などの操作をするときに選択します。PCモードでは操作レスポンス優先のため、映像と音声のずれや、音切れが発生しやすくなります。

■MOVIEモード

動画のなめらかさを重視するモードです。Windows Media Playerなどで動画を再生するときなどに選択します。MOVIEモードでは操作レスポンスは悪くなりますが、映像と音声がずれず、音切れも発生しにくくなります。
MOVIEモードでは、スティックポインタやボタンの操作などをおこなっても、すぐには反応しません。遅れる時間は、バッファサイズによって変わります。バッファサイズを小さくすると、応答性が良くなります。バッファサイズを大きくすると接続回線の変動による画像や音声の乱れに耐えやすくなります（その分、遅れる時間が大きくなります）。

バッファサイズの調節は、[MENU]→「便利ツール」→「Lui機能」→「Lui設定」→「機能設定」→「個別設定」でおこなえます。

画質優先と動き優先

画質を優先させるか、画像の動きを優先させるかを調節します。
設定している回線レベルや表示している画面の内容によっては画質の見た目が変わらないことがあります。

画質を調節するには次のボタンでおこないます。

機能	操作	説明
画質優先にする	[Fn][S]	ボタンを押すごとに、画質が向上します。スティックポインタ操作やボタン入力などをした場合の反応速度は下がります。
動き優先にする	[Fn][D]	ボタンを押すごとに、スティックポインタ操作やボタン入力などをした場合の反応速度は上がります。ただし、画質は低下します。

メモ

・「画質優先」「動き優先」の調節は、機能メニューの「画質変更」からおこなうこともできます。→p.79
「画質変更」では、5段階のレベルで調節でき、レベル値が大きいほど画質優先となり、レベル値が小さいほど動き優先となります。

ターゲットポインタについて

ネットワーク回線の速度が遅い場合や遅延などで、リモートスクリーン接続時に操作の反応が鈍くなることがあります。このようなときは、ターゲットポインタを目的の場所まで動かし、その場所にカーソルが追いついてからクリックしてください。また、N-08Bの「スティックポインタ設定」（※1）を「OFF」にするとマウスによる操作ができませんので、Lui機能は起動できません。「スティックポインタ設定」を「ON」にしてご利用ください。
ターゲットポインタは、N-08B側でスティックポインタの動きを描画するので、回線の遅延の影響を受けません。

※1：「スティックポインタ設定」は、MENU→「本体設定」→「その他設定」→「スティックポインタ設定」から起動します。

N-08Bのターゲットポインタ		スティックポインタ操作に遅れることなく反応します。
サーバPCのマウスカーソル（※2）		ターゲットポインタにやや遅れて到達します。遅れ具合は回線遅延の状況によって異なります。

※2：マウスカーソルのイメージはサーバPCの設定により異なります。

リモートスクリーンを使うときの注意事項

リモートスクリーンを使うときの注意事項について説明します。
なお、リモートスクリーンを利用する前の注意事項については、PART3の「リモートスクリーンを利用する前に」(p.65)をご覧ください。

リモートスクリーン接続前のご注意

サーバPCでの注意事項

- サーバPCで、BD/DVD/CDドライブにアクセスする機能や仮想ドライブを作成する機能のある次のようなソフトが起動している場合には、N-08BでサーバPCに接続できない場合があります。
  - DVDやブルーレイディスク再生ソフト
  - 音楽CDソフト(CD再生、リッピングなど)
  - ディスクライティングソフト(DVD作成機能がある動画編集ソフトを含む)
  - 仮想ドライブソフト
- サーバPCにキーボードが接続されていない場合、N-08BでサーバPCに接続できません。また、接続中にキーボードが取り外された場合は、リモートスクリーン接続が切断されることがあります。
- 複数台のサーバPCが同一ネットワーク内に設置されている場合は、外出先のネットワーク環境によっては、N-08Bから接続できない場合があります。
- サーバPC上でメールサーバソフトをご使用されていると、外出先のネットワーク環境によってはリモートスクリーン接続できない場合があります。
- サーバPCにログオンしているユーザがN-08Bからの接続拒否をしている場合、サーバPCのユーザがログオフすることによりN-08Bからリモートスクリーンで接続できるようになります。
- リモートスクリーン接続をおこなうと、あらかじめ設定されたユーザで自動的にログオンをおこないます。あらかじめ設定されたユーザ以外がログオンしている場合は、リモートスクリーン接続することができません。
- WindowsのAero機能が無効になっている場合、画像の一部が正しく表示されない場合があります。

N-08Bでの注意事項

- ご使用の環境、またはネットワークの環境によっては操作反応の遅延が起こります。ゲームなど、操作に即応性が求められるアプリケーションのご利用には向かない場合があります。
- 音量を調節する場合、N-08Bの音量調節機能または各アプリケーションの音量調節機能をご利用ください。

リモートスクリーン接続中のご注意

サーバPCでの注意事項

・ サーバPCでスリープ／休止状態の設定がされている場合でも自動でスリープ／休止状態になることはありません。
・ サーバPCでスクリーンセーバーは動作しません。
・ サーバPCには、N-08Bに転送されている画面が表示されます。
・ サーバPC側で操作をしたいときは、サーバPC側で【Alt】+【F1】を押すと、N-08BとサーバPCの接続は切断され、N-08Bには「リモートスクリーン画面の表示に失敗しました」という確認ダイアログが表示され、OKを押すと「Lui機能」の画面が表示されます。
・ ブルーレイディスクやDVDをサーバPCに挿入すると、通信が切断されます。

N-08Bでの注意事項

・ サーバPCでログオフやシャットダウン、再起動をおこなわないでください。解像度が接続前の状態に戻らない場合があります。
・ マウスカーソルのアニメーション(バックグラウンドで作業中など)、影などは表示されません。またマウスカーソルが大きく表示されることがあります。
・ 回線速度が遅い環境でご使用になる場合やCPU負荷が高い場合、映像のコマ落ち、音声の途切れが発生しやすくなります。
・ ユーザ切り替えはできません。
・ サーバPCを操作して解像度を切り替えると、通信が切断される場合があります。
・ サーバPCにログオンしているユーザは、ユーザ切り替えする画面、ログオフする画面、ロックする画面などは利用できません。
これらの機能を選択すると、画面に遷移できない、あるいは遷移後、自動的にログオンされたり、回線が切断されたり、また、リモートスクリーンが制御できなくなることがあります。
・ サーバPCの解像度、表示色、DPI設定、リフレッシュレートを変更しないでください。変更すると、画面が表示されなくなる(真っ暗になる)ことがあります。画面が表示されなくなった場合は、Lui機能を再起動してください。
・ N-08BからのみサーバPCの操作ができます。サーバPCに接続されているマウスやキーボードでは操作できません。
・ Lui機能使用中に音声電話の着信があると、[FOMA着信中]画面または[Wi-Fi着信中]画面となり、通話が終了すると自動的に[Lui機能]画面に切り替わります。このとき、サーバ接続は維持したままとなりますので、「リモートスクリーン」を選択して再度リモートスクリーンをおこなうことができます。

利用するソフトの注意事項

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- マウスやキーボードの自動入力をガードする機構が組み込まれているソフトウェア(オンラインゲームなど)は動作しない場合があります。
- 画面モードが切り替わるゲームなどのソフトを起動すると通信が切断されることがあります。
- ソフトによっては起動するとスティックポインタでの操作ができなくなる場合があります。その場合は、ボタンにより操作、終了してください。
- 著作権保護のため、地上デジタル放送やBS/CSデジタル放送およびその録画番組をサーバPCで再生させ、N-08Bで見ることはできません。また、DVDやブルーレイディスクをサーバPCで再生させ、N-08Bで見ることはできません。動画を再生するソフトによっては、再生画面が黒く表示されたり、サーバPCの音声がN-08Bから出力されないことがあります。
- 一部のソフトでは、ウィンドウの大きさが変わらない、メニューが隠れて操作できなくなる、画面のほとんどがメニュー表示になってしまうなどの症状が発生する場合があります。
- Windowsの拡大鏡の機能を使用するときは、拡大鏡の表示の設定を「レンズ」にして使用してください。「全画面表示」または「固定」にすると、カーソルがずれたり表示されなくなるため、使用しないでください。
- Windows Media Centerなど一部のソフトは全画面で表示できません。
- Windows Live フォトギャラリーではスライドショーを使用できません。
- BD/DVD/CDドライブを操作するソフトを使用すると、サーバPCへ接続できなかったり、接続が切断される場合があります。

その他の注意事項

- N-08BとサーバPCの切断後、サーバPCの解像度がもとに戻らない場合があります。その場合は、サーバPCで解像度を設定しなおしてください。
- 初期設定後に次のいずれかを変更した場合、PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
  - サーバPCのコンピュータ名
  - サーバPCのユーザアカウント名
  - サーバPCのユーザアカウントのパスワード
  - Dynamic DNSで接続した場合に「Luiケータイサーバ設定」-「ネットワーク設定」-「高度な設定」-「ポート設定」(p.95)で、セーフコネクトやリモートスクリーンのポートを手動で設定した
- お使いのネットワーク回線によっては、一定時間以上の接続を続けると通信が切断されることがあります。
- ドメイン環境(ユーザやコンピュータの管理情報をドメインコントローラにて管理するWindowsのネットワーク環境)には非対応です。

- タッチパネル機能を搭載しているサーバPCの場合、コントロールパネルの「ペンとタッチ」は表示されなくなります。
- サーバPCは、マルチディスプレイには対応していません。

著作権に関するご注意

- 音楽、映像、コンピュータプログラムなどの著作物は、著作権法によりその著作権および著作権者の権利が保護されています。お客様が著作権を保有していなかったり、あるいはお客様が、著作権者から複製(データ形式の変換を含みます)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などの了解を得ずに、著作物の複製(データ形式の変換を含みます)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などをおこなった場合、利用許諾条件または著作権法に違反することがあります。
- 音楽、映像、コンピュータプログラムなどの著作物を複製することは、個人的にまたはご家庭内で楽しむ、または個人的にまたはご家庭内で使用する目的でのみおこなうことができます。前述の目的を超える場合には、著作権者の承諾が必要になります。

サーバPCの操作

リモートスクリーンメニューについて

リモートスクリーンメニューからサーバPCとの接続を切断したり、N-08Bからの接続を拒否することができます。

リモートスクリーンメニューは、サーバPCのタスクバーから アイコンをクリックして起動します。
 がタスクバーに表示されていないときは、タスクバーの ボタンをクリックして、隠れているその他のタスクアイコンを表示してください。



項目名	説明
切断	リモートスクリーン接続中に有効です。 N-08Bからリモート操作により、「切断」をクリックすると、サーバPCとの接続を切断します。
接続拒否	リモートスクリーン接続していないときに有効です。 サーバPCから「接続拒否」をクリックすると、N-08Bからの接続を拒否するように設定されます。 N-08Bに接続されると不都合な場合などに設定してください。 「接続拒否」を解除すると、N-08Bからの接続を受け付けるようになります。 「接続拒否」を設定していても、N-08Bからリモート再起動した場合、設定が解除されます。

メモ

- 「接続拒否」の状態は、サーバPCからWindowsを再起動、またはログオフすると、自動的に解除されます。

サーバPCでの切断方法

リモートスクリーン接続中、サーバPC側には、N-08Bに転送されている画面が表示されますが、サーバPCで操作をおこなうことはできません。サーバPC側から操作をおこないたい場合は、サーバPC側で【Alt】+【F1】を押して強制的に通信を切断してください。

接続許可確認について

サーバPCを操作中に［Luiケータイへの接続を受け付けますか？あと○秒で自動的に接続します。］画面が表示されたときに、「はい」をクリックするか、一定時間操作をおこなわなかった場合に、N-08Bからの接続を受け付けます。接続を受け付けるとサーバPC側には、N-08Bに転送されている画面が表示されて、操作をおこなうことはできなくなります。「いいえ」をクリックするとN-08Bからの接続を拒否できます。



メモ

- ［Luiケータイへの接続を受け付けますか］画面を表示する必要がない場合には、PART4の「接続許可確認」(p.97)で設定を変更してください。

PART

4

設定する

このPARTでは、Lui機能の設定を変更する方法について説明しています。

設定を変更する

Lui機能の「初期設定」で設定した内容を含め、N-08BやサーバPCの設定などを変更することができます。

チェック

・設定を変更した場合、再度初期設定が必要になる場合があります。PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

N-08Bの設定を変更する

N-08Bの設定を変更するには「Lui設定」の「機能設定」からおこないます。

1 MENU→「便利ツール」→「Lui機能」→「Lui設定」→「機能設定」を選択する



設定できる項目

■ 接続設定

項目名	説明
接続設定確認	Luiケータイサーバ／Luiケータイの名前、サーバPCのIPアドレスを確認できます。
接続用パスワード設定	サーバPCに接続するときに使うパスワードを変更します。

■ メール設定

項目名	説明
メール設定確認	メールアドレス、SMTPサーバ、SMTPサーバのポート番号、POPサーバ、POPサーバのポート番号、POPアカウント、SMTP認証利用状態、SMTP認証アカウント、APOP利用状態を確認できます。
SMTPポート番号設定	SMTPサーバのポート番号を設定します。

■ 個別設定

リモートスクリーン接続直後の表示方法の変更や照明設定、設定のリセットなどをおこなうことができます。

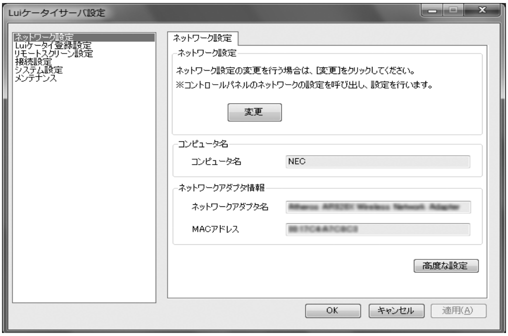
項目名	説明	初期値
画質変更	5段階で設定します。→p.79	レベル3
画面モード	PCモードまたはMOVIEモードに設定します。→p.83	PCモード
画面縮尺	等倍表示、全体表示、拡大表示の中から設定します。→p.81	全体表示
MOVIEモード時バッファサイズ	MOVIEモード時のバッファサイズを大、中、小の中から設定します。	中
解像度	1280×768、1024×768、800×600の中から設定します。 リモートスクリーン接続中は、ここで設定した解像度にてサーバPCの画面が表示されます。	1280×768
音量設定	リモートスクリーン画面での音量をレベル0 ～ 6(0:無音)に設定します。	レベル4
照明設定	「常時点灯」または「通常時の設定と同じ」に設定します。	通常時の設定と同じ
無操作タイムアウト	本設定は、リモートスクリーンからLui機能へ戻るタイムアウト時間となります。また、Lui機能またはLui設定表示中に、10分間無操作の状態が続くと、サーバとの接続が切断されます。 「タイムアウトあり」に設定した場合、タイムアウト時間を1 ～ 99分に設定します。	タイムアウト時間:10分
接続先設定	宅外からFOMAネットワークで接続するときの接続先を設定します。→p.60	mopera U sp_flat
Lui設定リセット	端末暗証番号を入力し、個別設定の各設定値を初期値に戻します。	－

サーバPCの設定を変更する

サーバPCの設定を変更するには、サーバPCで「Luiケータイサーバ設定」を起動しておこないます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiケータイサーバ」-「Luiケータイサーバ設定」をクリックする**

[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



メモ

- 初期設定を一度も完了していない場合、「Luiケータイサーバ設定」には「システム設定」と「メンテナンス」の2項目しか表示されません。

チェック

- 必ず管理者権限のあるユーザでログオンしてから「Luiケータイサーバ設定」を起動してください。
- N-08Bが接続されている状態では、Luiケータイサーバ設定の内容を反映できません。

設定できる項目

■ ネットワーク設定

ネットワーク設定	変更	「コントロールパネル」のネットワーク接続を呼び出します。
コンピュータ名	サーバPCのコンピュータ名を表示します。	
ネットワークアダプタ情報	サーバPCのネットワークアダプタ名、MACアドレスを表示します。	
―	高度な設定	ネットワークの高度な設定をします。
	ポート設定	セーフコネクト通信とリモートスクリーンのポートを自動(推奨)または手動で設定します。「手動設定」を選択した場合、ルータのポートフォワード(ポートマッピング)設定の変更が必要です。
	UPnP設定	DDNSで使用する場合、UPnP機能を使用するか設定します。UPnP機能を使用しない場合は、ルータのポートフォワード(ポートマッピング)設定の変更が必要です。
	セーフコネクト接続処理の高速化	セーフコネクトで使用するポート番号宛の通信を常にサーバPCへ転送することで、セーフコネクト接続を高速化します。初期状態では、有効になっています。

■ Luiケータイ登録設定

Luiケータイ使用環境	外出先で使用（電子メールを使用）	外出先から電子メールを使用して接続します。
	メールアドレス	セーフコネクト接続に使用するメールアドレスを設定します。（最大320文字）
	SMTPサーバ	SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。（最大255文字）
	ポート番号	SMTPサーバのポート番号を設定します。
	POPサーバ	POPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。（最大255文字）
	ポート番号	POPサーバのポート番号を設定します。
	POPアカウント	POPサーバにアクセスするアカウント名を設定します。（最大40文字）
	POPパスワード	POPサーバにアクセスするアカウント名のパスワードを設定します。（最大40文字）
	メール送信時に認証機能を使用する	宅外から接続するときに使用するISPと、SMTPサーバを提供しているISPが異なる場合は、一般的にSMTP認証（SMTP Auth）を使用しないとメール送信ができません。
	SMTP認証を使用する	SMTP認証（SMTP Auth）をおこないます。
	SMTP認証アカウント	SMTP認証（SMTP Auth）のアカウント名を設定します。（最大320文字）
	SMTP認証パスワード	SMTP認証（SMTP Auth）で使用するパスワードを設定します。（最大40文字）
	POP before SMTPを使用する	POP before SMTP認証をおこないます。
	APOPを使用する	APOP認証をおこないます。
	メール送受信テスト	メールの送受信テストをおこないます。
	Outlook2010のメール設定の取り込み	Outlook2010（※1）のメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
	Windows Liveメールのメール設定の取り込み	Windows Liveメールのメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
	外出先で使用（Dynamic DNSを使用）	外出先からDynamic DNSを使用して接続します。
	ドメイン名	DDNSサービスの契約時に取得したドメイン名を設定します。
	ドメイン名テスト	ドメイン名のテストをおこないます。
	宅内で使用	外出先から接続ができなくなります。宅内で使用する場合は、電子メールやDDNSの設定は不要です。

Luiケータイ登録設定	N-08Bとの接続状態を表示します。 最終接続日時には、最後に宅外から接続した日時が表示されます。	
	接続用パスワードの変更	サーバPCへの接続用パスワードを変更できます。パスワードを変更したときは、N-08Bで接続パスワードを入力するときに「接続パスワード変更後初めて接続する」にチェックを入れてください。
	登録解除	選択したN-08Bの登録を解除することができます。

※1：Outlook2007がインストールされている場合は、「Outlook2007のメール設定の取り込み」に変わります。

■ リモートスクリーン設定

接続許可確認	N-08Bからリモートスクリーン接続したときに、接続要求の画面を表示するか設定します。 画面を表示しない場合は、「接続要求許可ダイアログを表示する」のチェックを外してください。
サービス	「サーバPC起動時にサービスを自動起動する。」にチェックを入れると、サーバPCを起動したときにリモートスクリーンのサービスを自動起動します。 サービスを起動／停止する場合は「起動」または「停止」をクリックします。停止は設定終了時におこないます。

■ 接続設定

自動ログオン	自動ログオンユーザ	サーバPCに自動ログオンするユーザを設定します。 管理者権限のあるユーザを設定してください。
	パスワード	自動ログオンユーザのパスワードを設定します。（※1）
	自動ログオンテスト	「テスト」をクリックして、自動ログオンの設定を確認します。
	自動ログオンテスト結果	自動ログオンテストの結果を表示します。

※1：パスワードの設定が正しくないと設定を終了できません。自動ログオンユーザのパスワードの入力方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

■ システム設定

パワーマネジメント	「パワーマネジメント設定」をクリックすると、「コントロールパネル」の「電源オプション」が呼び出されます。
バージョン情報	Luiケータイサーバのバージョン情報が表示されます。

■ メンテナンス

Luiケータイサーバ初期設定	「開始」をクリックするとサーバPCの初期設定を起動します。 サーバPCに登録が可能なN-08Bは8台です。

初期設定をやりなおす

N-08Bを使い始める際におこなった初期設定をやりなおして、接続設定を変更する場合は、「Luiケータイサーバ初期設定」からおこないます。

1 PART2の「N-08Bから「サーバ接続設定」を起動する」(p.43)の手順をおこなう

2 サーバPCの「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiケータイサーバ」-「Luiケータイサーバ初期設定」をクリックする

初期設定が始まります。手順については、PART2の「サーバPCの初期設定をおこなう」(p.45)をご覧ください。

チェック

・ サーバPCの「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiケータイサーバ」-「Luiケータイサーバ設定」-「メンテナンス」-「Luiケータイサーバ初期設定」-「開始」ボタンから初期設定を起動することもできます。

PART

5

トラブル解決

このPARTでは、Lui機能を使っていて困ったときの対処法を説明しています。

トラブル発生時の対応

ここに記載している情報以外にも、Lui機能利用時の注意事項などをNECカシオモバイルコミュニケーションズの製品ページで公開しています。こちらもあわせてパソコンでご利用ください。
http://www.n-keitai.com/

初期設定ができない

N-08Bの通信モードを確認してください

通信モードが「DUALモード(FOMA優先)」または「FOMAシングルモード」に設定されていると、初期設定ができません。「DUALモード(Wi-Fi優先)」または「Wi-Fiシングルモード」に設定してください。

ネットワーク環境を確認してください

初期設定時に、サーバPCと接続できるネットワーク環境(無線LAN)が必要です。

無線LANの電源がオンになっていますか?

サーバPCを無線LANで接続している場合は、サーバPCのマニュアルをご覧になり、無線LANが有効になっているか確認してください。

ほかのN-08Bを接続していませんか?

サーバPCにN-08Bを接続している場合、初期設定を進めることはできません。切断してから初期設定をおこなってください。

設定内容を確認してください

初期設定の手順中に入力する電子メールの設定などが正しいか確認してください。

サーバPCを再起動してください

サーバPCにて、Windowsを再起動してください。

Bluetooth機器が登録されていませんか?

PART3の「Bluetooth機器登録状態でWi-Fiでの初期設定やリモートスクリーン接続ができないときは」(p.68)をご覧になり、Bluetoothの設定を確認してください。

サーバPCとの通信が切断されてしまう

サーバPCの解像度を確認してください

サーバPCは、1280×768、1024×768、800×600のいずれかの画面解像度に対応している必要があります。リモートスクリーン接続中に、これ以外の解像度に変更したり、解像度を切り替えるソフトなどを使用すると、通信が切断されます。切断されたときは再度接続をおこなってください。

電波が弱くなっていませんか?

電波が弱い場所では通信が切断されてしまうことがあります。電波の届く場所に移動してください。

ケーブルが抜けていませんか?

サーバPCとルータを有線LANで接続している場合、LANケーブルが抜けていないか確認してください。

リフレッシュレートや色数、解像度など画面モードが切り替わるソフト(ゲームなど)を使用していませんか?

画面モードが切り替わるゲームなどのソフトを起動すると通信が切断されることがあります。切断されたときは再度接続をおこなってください。
起動したソフトの影響で接続がうまくいかない場合は、「リモート再起動」機能を使ってサーバPCを再起動することでソフトを強制的に終了させることができます。「リモート再起動」については、PART3の「サーバPCを再起動する」(p.76)をご覧ください。

「Luiケータイサーバ」のバージョンを確認してください

N-08Bと「Luiケータイサーバ」の組み合わせによっては、初期設定ができなかったり、つながらなかったりすることがあります。
N-08Bのソフトウェア更新のご案内が届いている場合はソフトウェア更新をおこなってください。また、以下のNECカシオモバイルコミュニケーションズの製品ページからパソコンで、「Luiケータイサーバ」のアップデートモジュールが公開されていないかをご確認ください。
　http://www.n-keitai.com/

サーバPCとの接続用パスワードを忘れてしまった

再度初期設定をしてください

接続用パスワードを忘れてしまった場合は、PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、N-08Bの初期設定をやりなおしてください。

リモートスクリーン使用中に画面がかくつく、画質が悪い

お使いの環境に左右される場合があります

サーバPCのCPU負荷が高い場合や、お使いのネットワーク環境や電波の状態により、画面が動かなくなったり、かくつき、操作反応の遅延、音の途切れが発生する場合があります。

PCモードとMOVIEモードを切り替えてください

PCモードは画像の鮮明さとN-08Bを操作するときのレスポンスを重視するモードです。MOVIEモードは動画のなめらかさを重視したり、音が途切れないようにするモードです。利用場面によってモードを切り替えてください。詳しくは、PART3の「画質の調節」(p.82)をご覧ください。

画質を調節してください

画質を優先させるか、画像の動きを優先させるかを調節することができます。調節のしかたは、PART3の「画質の調節」(p.82)をご覧ください。動きを優先させると、画面がかくつくことがあります。

サーバPCの壁紙を変更してください

サーバPCの壁紙に写真などを使っていると、画面表示のために転送される情報が多くなります。そのため、操作のレスポンスが低下したり、N-08Bに表示される画面がモザイク状に表示されたりすることがあります。
その場合、サーバPCの壁紙をシンプルなものに変更すると、画面表示のために転送される情報が減るので、操作のレスポンスなどが向上します。
ご使用状況に応じて、単色(純色)の壁紙などを選んでください。推奨色は「グレー」です。次の操作で変更できます。

1 サーバPCのデスクトップ画面で右クリックし、表示されるメニューから「個人設定」をクリックする

2 表示される画面で「デスクトップの背景」をクリックし、「画像の場所」に「単色」を選ぶ

3 表示されているパレットから「グレー」の画像をクリックし、「変更の保存」をクリックする

4 をクリックする

設定が変更され、画面が閉じます。

リモートスクリーン接続でエラーになる

次のチェックポイントを確認してください

- **初期設定で「宅内のみで使用」になっている**
  サーバPCの初期設定をおこなう際、「宅内のみで使用」にチェックを入れると、宅外からは接続できません。宅外から接続する場合は、「外出先で使用(接続処理に電子メールを使用)」、もしくは「外出先で使用(接続処理にDynamic DNSを使用)」にチェックを入れ、電子メールまたはDDNSの設定をおこなう必要があります。初期設定の変更については、PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧ください。
- **N-08Bの通信モード設定がWi-Fiシングルモードになっている**
  Wi-Fiシングルモードになっていると、FOMAネットワークで接続できません。Wi-Fiシングルモード以外に設定を変更してください。

宅外からFOMAネットワークで接続する場合

- **メール設定が正しくない(接続処理に電子メールを使用する場合)**
  メールの設定が正しくないと、接続できません。メールの設定を再確認してください(メールアドレス、SMTPサーバ、POP3サーバ、SMTP認証など)。
- **DDNS設定が正しくない(接続処理にDDNSを使用する場合)**
  DDNSの設定が正しくないと、接続できません。ドメイン名を再確認してください。なお、DDNS名に日本語ドメイン名は設定できません。
- **グローバルIPアドレスが取得できない**
  サーバPC側で、グローバルIPアドレスを取得できないと、接続できません。
- **ルータがUPnPに対応していない**
  ルータがUPnPに対応していないか、またはUPnP機能がオフになっている場合は接続できません。
  ルータのUPnP機能がオンであるにもかかわらずUPnP関係のエラーが出る場合は、ルータを再起動することで改善することがあります。
- **ルータが2段構成になっている**
  ホームネットワーク内に複数のルータが設置されている場合、接続できないことがあります。

宅外、宅内から接続する場合

- **サーバPCで複数のLANアダプタが動作している**
  2つ以上のLANアダプタが同時にネットワークに接続されていると、N-08Bが接続できない場合があります。LANアダプタが1つになるようにしてください。

- **セキュリティソフトがブロックしている**
  サーバPCのセキュリティソフトがリモートスクリーンの通信をブロックしていると、リモートスクリーンを使用できません。リモートスクリーンの通信を許可するようサーバPCのセキュリティソフトを設定してください。設定方法は、PART2の「セキュリティソフトの設定について」(p.62)およびセキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

- **ウイルスバスターを使っている**
  ウイルスバスター 2009または2010をお使いのかたは、次の修正モジュールを適用してください。

  〈ウイルスバスター 2009向け〉
  http://esupport.trendmicro.co.jp/pages/JP-2075927.aspx

  〈ウイルスバスター 2010向け〉
  http://esupport.trendmicro.co.jp/pages/JP-2075874.aspx

- **日付、時刻がずれている**
  サーバPCとN-08Bの日付、時刻が極端にずれていると、接続できません。

サーバPCと接続できない

以下のことを確認してください

- サーバPCの起動直後にサーバPCに接続すると、接続に失敗することがあります。その場合、しばらくたってから、再度接続してください。
- サーバPCがLANに接続されているか確認してください。
- サーバPCにキーボードが接続されていない場合は、接続できません。
- サーバPCにJIS配列準拠のキーボード(PS2、USB接続のキーボード)以外を接続した場合、リモートスクリーン機能が正常に動作しないことがあります。JIS配列準拠のキーボード(PS2、USB接続のキーボード)を使用してください。
- ブルーレイディスクやDVDがサーバPCのBD/DVD/CDドライブにセットされているときは、サーバPCに接続できません。BD/DVD/CDドライブを確認してください。
- リモートスクリーン利用時には、サーバPCの画面モードのリフレッシュレートが60Hz(59Hz)、色数が32bit以外になっていると、接続できないことがあります。コントロールパネルから画面モードの設定を確認してください。

- 初期設定の「自動ログオンの設定」で設定していないユーザがサーバPCにログオンしている場合は接続できません。
- サーバPCで【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押して表示される画面、もしくはパスワード変更画面を表示しているときは接続できません。
- ウイルス対策ソフトなどのアップデート中は、サーバPCとの接続に失敗することがあります。その場合はアップデート完了後、再起動してから再接続してください。
- 初期設定後にサーバPCのコンピュータ名、ユーザアカウント名、ユーザアカウントのパスワード、Dynamic DNSで接続した場合に「ポート設定」(p.95)で、セーフコネクトやリモートスクリーンのポートを手動で設定するなどのいずれかを変更した場合、PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
- ファイアウォールのソフトをアップデートした場合、再度ファイルアクセス許可の設定が必要となる場合があります。詳細については、PART2の「セキュリティソフトの設定について」(p.62)をご覧ください。
- Luiケータイサーバをインストールした状態でWindowsのアップグレードをおこなわないでください。リモートスクリーン接続できなくなることがあります。もしLuiケータイサーバをインストールした状態でWindowsのアップグレードをおこなってしまった場合は、Luiケータイサーバを一度アンインストールし、その後再度インストールしてください。
- Bluetooth機器が登録されている場合は、PART3の「Bluetooth機器登録状態でWi-Fiでの初期設定やリモートスクリーン接続ができないときは」(p.68)をご覧になり、Bluetoothの設定を確認してください。

N-08BでサーバPCの音声が再生されない

N-08Bの音量が小さくなっていませんか？

「音量を調節するには」(p.73)をご覧になり、N-08Bの音量を確認してください。それでも音が鳴らないときは、「N-08BでサーバPCの音声が再生されないときは」(p.74)をご覧になり、サウンドデバイスの設定をおこなってください。

それでも接続できない場合

次の手順をおこなってください。

サーバPCを再起動する

PART3の「サーバPCを再起動する」(p.76)をご覧になり、サーバPCを再起動してください。
サーバPCが再起動したら、再度リモートスクリーン接続をおこなってください。

Luiケータイサーバの初期設定をやりなおす

PART4の「初期設定をやりなおす」(p.99)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

Luiケータイサーバをインストールしなおす

「付録」の「Luiケータイサーバのアンインストール」(p.123)をご覧になり、いったんLuiケータイサーバをアンインストール後、インストールしなおしてください。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージは、数字、英字、五十音順に記載しています。
エラーメッセージ内の(　)内の数字は、識別番号です。

エラーメッセージ	説明／対処方法
00001～65535の 間で 指定してください	設定範囲外です。 ●00001～65535の間で指定してください。
０１～９９分の間で 設定してください	設定範囲外です。 ●01～99分の間で設定してください。
ＩＰアドレス解決要求 処理でタイムアウト しました （２００７）	メールの受信ができませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・プロバイダの迷惑メール対策によって送信がブロックされている可能性があります。メール設定を確認してください。 ・ホテルなどのインターネット接続では、最初に認証（ログイン）が必要な場合があります。インターネットに接続できることを確認してください。 ・初期設定時に「宅内のみで使用」を選択した可能性があります。宅外で使用する場合は、再度初期設定をおこなってください。 ・ほかのパソコンなどで同じメールアドレスのメールを同時に受信している可能性があります。ほかの機器からのメール受信がおこなわれないようにするか、メールのコピーを受信メールサーバに残す設定をおこなってください。 ・サーバPCの配線や電源を再確認してください。
ＩＰアドレスが 取得できません （１１２）	サーバPCを接続しているルータの、WAN側のIPアドレスを正しく取得できませんでした。 ●サーバPCを接続しているルータのWAN側の配線が正しくなされているか確認してください。 ●サーバPCの配線を確認した後、ルータとサーバPCの電源ケーブルを抜き、1分ほど経過したのち電源ケーブルを接続し、再度サーバPCの電源を入れてください。
ＩＰアドレスが不正 （０．０．０．０） （４８）	サーバPCへの接続ができませんでした。 ●IPアドレスが設定されていません。ネットワークの設定を確認してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
ＩＰアドレスが不正 (ローカルアドレス) （５１）	サーバPCがネットワークに正しく接続されていません。 ●サーバPCを接続したルータが、正しく配線されているか確認してください。 ●プロバイダから、グローバルIPアドレスが割り振られているかどうか確認してください。
ＩＰアドレス 取得要求エラーです （２００２）	正しいIPアドレスが取得できませんでした。 ●しばらくしてから、再度サーバPCに接続してください。 ●無線LANで接続している時は、SSIDやWEP等が正しく設定されていることを確認してください。
ＰＯＰサーバ接続に 失敗しました （４０３）	POPサーバと接続できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・POPサーバの設定が正しいか確認してください。
ＰＯＰ受信に 失敗しました （８３）	POPサーバから情報を取得できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・POPサーバの設定が正しいか確認してください。
ＰＯＰ認証に 失敗しました （１００）	メールサーバと通信できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・メール設定が正しいか確認してください。
ＰＯＰ認証に 失敗しました （４０４）	POPアカウント／パスワードが正しくありません。 ●メール設定が正しいか確認してください。 特に、POPアカウントとパスワード、SMTP認証アカウントとパスワードが正しいか確認してください。
ＳＭＴＰ ＥＨＬＯ送信に 失敗しました （６４）	SMTP認証サーバと接続できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・プロバイダの迷惑メール対策によって送信がブロックされている可能性があります。設定を確認してください。 ・ホテルなどのインターネット接続では、最初に認証(ログイン)が必要な場合があります。インターネットに接続できることを確認してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
ＳＭＴＰ ＨＥＬＯ送信に 失敗しました （６３）	SMTPサーバと接続できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・プロバイダの迷惑メール対策によって送信がブロックされている可能性があります。設定を確認してください。 ・ホテルなどのインターネット接続では、最初に認証(ログイン)が必要な場合があります。インターネットに接続できることを確認してください。
ＳＭＴＰ ＲＣＴＰ　ＴＯ送信に 失敗しました （６６）	設定されているメールアドレスが正しくありません。 ●メール設定が正しいか確認してください。
ＳＭＴＰ接続に 失敗しました （６２）	SMTPサーバと接続できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・プロバイダの迷惑メール対策によって送信がブロックされている可能性があります。設定を確認してください。 ・ホテルなどのインターネット接続では、最初に認証(ログイン)が必要な場合があります。インターネットに接続できることを確認してください。
ＳＭＴＰ認証サーバ 接続に失敗しました （６５）	SMTP認証ができませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・SMTPの設定が正しいか確認してください。特に、SMTP認証アカウントとパスワードが正しいか確認してください。
ＳＭＴＰ認証サーバ に接続できません （４０１）	SMTP認証サーバと接続できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・SMTPの設定が正しいか確認してください。特に、SMTP認証サーバが正しいか確認してください。 ・プロバイダの迷惑メール対策によって送信がブロックされている可能性があります。設定を確認してください。
ＳＭＴＰ認証に 非対応です （４０２）	SMTP認証ができませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・プロバイダの迷惑メール対策によって送信がブロックされている可能性があります。設定を確認してください。 ・SMTP認証が必要なSMTP認証サーバか確認してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
ＶＰＮ用ポートが 開放できません （１１５）	サーバPCを接続しているルータに来たN-08Bからの通信を、サーバPCに割り振る(ポートフォワード)ことができませんでした。 ●ルータが反応するまでにしばらく時間がかかる場合があります。5分ほど経過したのち再度接続してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・ルータのUPnP機能が有効であるか確認してください。 ・セーフコネクト通信ポートが他の機器にポートフォワードされていないことを確認してください。 ・ルータを再起動してください。
ＶＰＮ用ポートは 使用中です （１１６）	サーバPCで、他のアプリケーションが通信ポートを使用しているため、サーバPCに接続できませんでした。 ●「Luiケータイサーバ設定」で設定したセーフコネクト通信ポートを、他のアプリケーションや機器がポートフォワードしていないことを確認してください。 ●「Luiケータイサーバ設定」で設定したセーフコネクト通信ポートの設定が、ルータ側に反映されていることを確認してください。
Wi-Fi接続先が 未設定です 設定してください	Wi-Fi接続先が未設定です。 ●Wi-Fi接続先を設定してからご利用ください。
Wi-Fi未接続です Wi-Fiに接続してから 再度実行して下さい	Wi-Fi接続先が未設定です。 ●Wi-Fi接続先を設定してからご利用ください。
ｻｰﾊﾞPCにｷｰﾎﾞｰﾄﾞが 接続されていません ﾘﾓｰﾄｽｸﾘｰﾝ画面を 表示できません	サーバPCにキーボードが接続されていないため、起動できませんでした。 ●サーバPCにJIS配列準拠のキーボードを取り付けてから、接続をおこなってください。
サーバ起動完了受信で タイムアウトしました （２００８）	Luiケータイサーバを起動することができませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・サーバPCが起動しているか確認してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
サーバ起動完了受信に 失敗しました （２００６）	Luiケータイサーバの起動の確認ができませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●Luiケータイサーバが起動しているか確認してください。また、Luiケータイサーバで「起動時にサービスを自動起動する。」のチェックが外れている場合は、チェックを入れてください。 ●サーバPCの電源ケーブルを抜き、1分ほど経過したのち電源ケーブルを接続し、再度サーバPCの電源を入れてください。 ●Luiケータイサーバの仮想ネットワークアダプタ(SafeConnect VPN Adapter)が削除されていないか確認してください。もしネットワークアダプタがない場合は、Luiケータイサーバを再インストールしてください。
サーバ検索応答受信に 失敗しました （２００５）	ネットワークに接続できませんでした。 ●無線LANで接続している時は、SSIDやWEP等が正しく設定されているか確認してください。
サーバ同時接続上限数 を超えているため 接続できません （２０６）	すでに他のN-08Bが、サーバPCへ接続しているため、接続できませんでした。 ●すでに接続されているN-08Bが切断されたのち、サーバPCに再接続してください。
サーバとの 接続に失敗しました （２０７）	サーバPCとSSL接続できませんでした。 ●サーバPCで、次のことをおこなってください。 ＜宅内から接続の場合＞ ・「Luiケータイサーバ設定」で設定した通信ポートを使用する他のアプリケーションがある場合、終了させるか、通信ポートの設定を変更してください。 ・サーバPCの配線や電源を再確認してください。 ＜宅外から接続の場合＞ さらに以下のことをおこなってください。 ・プロバイダから、グローバルIPアドレスが割り振られているか確認してください。 ・ルータを2段以上接続していないか確認してください。 ・通信ポートが他の機器にポートフォワードされていないことを確認してください。 ・複数のサーバPCでメールアカウントを共用していないか確認してください。 ・サーバPCの配線や電源を再確認してください。 ・サーバPCのセキュリティソフトが通信をブロックしていないか確認してください。
サーバとの 通信に失敗しました （２０８）	通信環境が不安定なため、ネットワークが切断されました。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●サーバPCの配線や電源を再確認してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
サーバとの通信に 失敗しました （２１０）	通信環境が不安定なため、ネットワークが切断されました。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・サーバPCのセキュリティソフトが通信をブロックしていないか確認してください。 ・複数のサーバPCでメールアカウントを共用していないか確認してください。 ・サーバPC仮想ネットワークアダプタ(SafeConnect VPN Adapter)が削除されていないか確認してください。もしこのネットワークアダプタがない場合は、Luiケータイサーバを再インストールしてください。
サーバに接続 できません	●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●設定が正しいか確認してください。
サーバの アドレスが不正です （２１１）	サーバPCを接続しているルータの、WAN側のIPアドレスを正しく取得できませんでした。 ●サーバPCを接続しているルータのWAN側の配線が正しくなされているか確認してください。 ●サーバPCの電源ケーブルを抜き、1分ほど経過したのち電源ケーブルを接続し、再度サーバPCの電源を入れてください。
シーケンス番号が 一致しません （３００）	通信環境が不安定なため、ネットワークが切断されました。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。
失敗しました	●再度、実行してください。 ●何度もエラーが出る場合は、Luiケータイサーバを再インストールしてください。
取得したＩＰアドレス が不正です （１１３）	サーバPCを接続しているルータから、グローバルIPアドレスを取得できませんでした。 ●ルータのネットワークの配線が正しいか確認してください。 ●プロバイダから、グローバルIPアドレスが割り振られているか確認してください。 ●ルータの電源ケーブルを抜き、1分ほど経過したのち電源ケーブルを接続してください。
取得したＩＰアドレス が不正です （１１４）	サーバPCを接続しているルータから、グローバルIPアドレスを取得できませんでした。 ●プロバイダから、グローバルIPアドレスが割り振られているか確認してください。 ●ルータを2段以上接続していないか確認してください。
証明書有効期限が 切れています （１３５）	サーバPCとの接続の有効期限が切れているため、接続できませんでした。 ●サーバPCの時計が正しいことを確認してください。 ●N-08Bの時計が正しいことを確認してください。 ●初期設定をもう一度おこなってください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
接続 できませんでした	PPP接続に失敗しました。 ●N-08Bの「Lui設定」－「機能設定」－「個別設定」－「接続先設定」の設定内容が正しいか確認してください。→p.60
接続できませんでした （１１１）	サーバPCを接続しているルータを、UPnPで制御できませんでした。 ●ルータのUPnP機能が有効であるか確認してください。
接続パスワードが 未入力です	接続用パスワードが未入力です。 ●パスワードを入力してください。
接続パスワードは ６文字以上です	接続用パスワードが6文字未満になっています。 ●6文字以上のパスワードを入力してください。
接続要求エラーです （２００１）	内部エラーが起きました。 ●N-08Bを再起動してください。
接続要求エラーです （リモート接続時） （２００３）	内部エラーが起きました。 ●N-08Bを再起動してください。
タイムアウト しました （１６）	サーバPCから応答がありませんでした。以下の原因が考えられます。 ・サーバPCからN-08Bへの通信がブロックされている。 ・他のサーバPCと、接続用のメール設定を共有している。 ・すでに同じ名前を持つ他のN-08BがサーバPCへ接続している。 以下の方法で対処してください。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●すでに接続されているN-08Bが切断されたのち、サーバPCに再接続してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・他の機器と同じメールアドレスを共有していないか確認してください。 ・サーバPCの仮想ネットワークアダプタ(SafeConnect VPN Adapter)が有効か確認してください。
宅内サーバ検索に 失敗しました （２０１０）	サーバ検索に失敗しました。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●サーバPCが起動しているか確認してください。 ・初期設定を「宅内のみで使用」でおこなった可能性があります。宅外で使用する場合は、初期設定をもう一度おこなってください
端末暗証番号が 違います	正しい暗証番号を設定してください。
端末暗証番号は ４～８桁です	正しい暗証番号を設定してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
認証エラー ＶＰＮ接続パスワード に誤りがあります （１２２）	以下の理由で接続できませんでした。 ・入力した接続用パスワードが違う。 ・サーバPC側で接続用パスワードを変更した。 ・サーバPC側でN-08Bの登録を解除した。 以下の方法で対処してください。 ●入力した接続用パスワードが違う、または、接続用パスワードを変更した場合 ・接続時のパスワード入力画面で、「接続用パスワード変更後、初めて接続する」にチェックを入れて、接続をおこなってください。 ●サーバPC側でN-08Bの登録を解除した場合 ・初期設定をおこなってください。
認証エラー ロック状態のため 接続できません （２０５）	IPアドレスを正しく設定できませんでした。 ●N-08Bを再起動してください。 ●無線LANで接続している時は、SSIDやWEP等が正しく設定されているか確認してください。
プロキシサーバとの 接続に失敗しました （２１８）	プロキシサーバと接続できませんでした。 ●Wi-Fi接続先のProxy設定が正しいか確認してください。
プロキシサーバの ＩＰアドレスが 不正です （２１７）	プロキシサーバのアドレスが正しくありません。 ●Wi-Fi接続先のProxy設定が正しいか確認してください。
変更後パスワードと 確認用パスワードが 一致していません	変更後パスワードと確認用パスワードが一致していません。 ●正しいパスワードを入力してください。
ホームUでは ご利用できません 接続先を切り替えて ご利用ください	ホームUとの同時利用はできません。 ●Wi-Fi設定にてホームUではない接続先を設定してご利用ください。
他のユーザが 使用中なため 再起動できません	他のユーザが使用中のため、利用できません。 ●他のユーザの利用終了後に利用してください。
他のユーザが 使用中なため 利用できません	他のユーザが使用中のため、利用できません。 ●他のユーザの利用終了後に利用してください。
本機の名前が 未入力です	本機の名前が未入力です。 ●名前を入力してください。
未入力欄があります	未入力欄があります。 ●入力してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
メール受信に 失敗しました （１０２）	メールのPOP設定が正しくないか、サーバPCがネットワークに正しく接続されていません。 ●POPサーバの設定が正しいか確認してください。 ●プロバイダの迷惑メール対策によって送信がブロックされている可能性があります。 設定を確認してください。 ●サーバPCのネットワークの配線が正しいか確認してください。 ●ネットワークの設定が、ご利用の環境に合っているか確認してください。
メール設定情報 エラーです （６８）	SMTP認証サーバと接続できませんでした。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・メール設定が正しいか確認してください。
メール本文 作成エラーです （１３６）	SSL用証明書交換中にVPN接続をリセットしようとしました。 ●再度リトライしてください。
メディアが挿入 されています ﾘﾓｰﾄｽｸﾘｰﾝ画面を 表示できません	サーバPCのBD/DVD/CDドライブにブルーレイディスクやDVDが入っているため、起動できませんでした。 ●サーバPCに挿入されているメディアを抜いてから、接続をおこなってください。
ﾘﾓｰﾄｽｸﾘｰﾝ画面の 表示に失敗しました	●Windowsのパスワードを変更した場合は再度初期設定をおこなってください。 ●電波ができるだけ強い場所に移動してください。 ●電波の問題ではない場合は、リトライしてください。 ●リトライしても対処できない場合は、N-08BからサーバPCを再起動（リモート再起動）してください。
ﾘﾓｰﾄｽｸﾘｰﾝﾎﾟｰﾄが 開放不可です （１１７）	サーバPCを接続しているルータを、UPnPで制御できませんでした。 ●ルータが反応するまでにしばらく時間がかかる場合があります。5分ほど経過したのち再度接続してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・ルータのUPnP機能が有効であるか確認してください。 ・リモートスクリーンポートが他の機器にポートフォワードされていないことを確認してください。 ・ルータを再起動してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
ﾘﾓｰﾄｽｸﾘｰﾝﾎﾟｰﾄが 使用中です （１１８）	サーバPCで、他のアプリケーションが通信ポートを使用しているため、リモートスクリーンを実行できませんでした。 ●ルータが反応するまでにしばらく時間がかかる場合があります。5分ほど経過したのち再度接続してください。 ●このエラーが何度も表示される場合は、次のことをおこなってください。 ・「Luiケータイサーバ設定」で設定したリモートスクリーンポートを、他のアプリケーションや機器がポートフォワードしていないことを確認してください。 ・「Luiケータイサーバ設定」で設定したリモートスクリーンポートの設定が、ルータ側に反映されていることを確認してください。
ﾘﾓｰﾄｽｸﾘｰﾝを終了します 接続先PCの解像度が 変更となり 表示できなくなりました	サーバPCの解像度がサポート範囲外の解像度に変更されたため、リモートスクリーンを終了しました。 ・サーバPCの解像度を、1280×768、1024×768、800×600のいずれかに設定してください。

付　録

Lui機能を使う上で知っておくと便利なことについて説明しています。

ボタン操作一覧

リモートスクリーン中に使用できるN-08Bのボタン操作です。
[ ]内の文字は、N-08Bのボタン上の青文字を指します。

ボタン操作(初期値)	動作説明
MENU	パソコンのWindowsキーと同じ動作
Fn Esc [Exit]	[Lui機能]画面を表示
Fn W [PC]	PCモード
Fn E [Movie]	MOVIEモード
Fn R [Fit]	ウィンドウフィット表示
Fn S [◀画質]	画質優先
Fn D [動き▶]	動き優先
Fn U [消音]	音量を0(無音)にする
Fn O [音量+]	音量+1
Fn I [音量-]	音量-1
Fn 1 [F1]	パソコンのF1キーと同じ動作
Fn 2 [F2]	パソコンのF2キーと同じ動作
Fn 3 [F3]	パソコンのF3キーと同じ動作
Fn 4 [F4]	パソコンのF4キーと同じ動作
Fn 5 [F5]	パソコンのF5キーと同じ動作
Fn 6 [F6]	パソコンのF6キーと同じ動作
Fn 7 [F7]	パソコンのF7キーと同じ動作
Fn 8 [F8]	パソコンのF8キーと同じ動作
Fn 9 [F9]	パソコンのF9キーと同じ動作
Fn 0 [F10]	パソコンのF10キーと同じ動作
Fn = [F11]	パソコンのF11キーと同じ動作
Fn ~ [F12]	パソコンのF12キーと同じ動作
Fn CLR [Del]	パソコンのDelキーと同じ動作
終話	サーバとの接続を切断し、待受画面へ戻る

参照

・リモートスクリーンの各種機能について→PART3の「リモートスクリーンの各種機能について」(p.78)

Lui機能使いこなし術

接続する回線を選んだり、接続したネットワークの速度や使用目的にあわせた設定をしたりすることで、Lui機能をより快適な状態で使用していただくことができます。
ここでは、ご使用状況にあわせてLui機能を快適に使いこなしていただくための設定変更についてご紹介します。
詳しい設定内容や具体的な操作については、それぞれの参照先をご覧ください。

回線の設定

■ 接続する回線を切り替える

Lui機能を使用する場所によっては、通信用の電波が届きにくい場合があります。
Wi-FiやFOMAで利用する電波の強さを確認し、よりよい通信環境が確保できる回線を選んでください。

■回線レベルを調節する

接続する回線によって、回線の速度(ネットワークの帯域)が異なります。
サーバPCに接続した後、N-08Bから機能メニューを起動し、「回線レベル変更」のメニューから適切な回線レベルを選ぶことで、より快適な操作をおこなうことができます。
最初に接続したときは、回線レベルが既定値(出荷時の設定)となっています。
操作に対する反応が悪かったり、映像にかくつきや遅延があるときは、回線レベルを「1」に変更して操作状況を確認してください。
その後、レベルを1つずつ上げて、適切な設定に変更してください。

参照

・回線レベルを変更する→PART3の「機能メニューについて」(p.78)

解像度の設定

■ 解像度を設定する

サーバPCの解像度を低いものに切り替えると、場合によっては表示面積が減りますが、アイコンや文字は大きく表示され、見やすくなります。
画面の解像度は、N-08Bの「Lui設定」-「個別設定」で変更することができます。ご使用状況に応じて、「1280×768」、「1024×768」、「800×600」から選んでください。

参照

・解像度の設定について→PART4の「■個別設定」(p.93)

使用する目的にあわせた設定

■ アプリケーションにあわせて画面モードを切り替える

操作しているアプリケーションにあわせて、画面モードを切り替えることができます。

・ PCモード
  操作のレスポンスを優先するモードです。アプリケーションの操作がスムーズにおこなえます。文書の編集などに適しています。ただし、MOVIEモードに比べて映像や音声のずれが起こりやすくなります。
・ MOVIEモード
  映像の再生を優先するモードです。ネットワークの速度の変化によって起こるかくつきや音の途切れを抑えて、動画をなめらかに再生します。ただし、PCモードに比べてスティックポインタやボタンの操作をしたときの反応速度は低下します。

参照

・画面モードの切り替えについて→PART3の「画面モード」(p.83)

■ 画質と動き（操作のレスポンス）、いずれかの優先度を調節する

どちらを優先させるか調節することができます。使用する目的にあわせて設定してください。

- 画質優先
  表示される文字のにじみをできるだけなくしたいときに選びます。画質の優先度を高くするごとに、操作のレスポンスが低下します。
- 動き優先
  操作のレスポンスを優先したいときに選びます。動きの優先度を高くするごとに、画質は低下します。

参照

・画質と動きの優先度の設定について→PART3の「画質優先と動き優先」（p.83）

■サーバPCの画面デザインを変更する

サーバPCの画面デザインをシンプルなものに変更すると、転送する画面情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。
画面デザインの設定は、デスクトップ画面で右クリックし、「個人設定」をクリックして表示される画面で変更することができます。
ご使用状況に応じて、「Windowsクラシック」などシンプルな画面デザインを選んでください。

■サーバPCの壁紙を変更する

サーバPCの壁紙をシンプルなものに変更すると、画面表示のために転送される情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。
壁紙は、デスクトップ画面で右クリックし、「個人設定」をクリックして表示される画面の「デスクトップの背景」で変更することができます。
ご使用状況に応じて、単色（純色）の壁紙などを選んでください。推奨色は「グレー」です。

Luiケータイサーバのアンインストール

Luiケータイサーバをアンインストールする場合は、次の手順でおこなってください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムのアンインストール」をクリックする

［プログラムのアンインストールまたは変更］画面が表示されます。

2 一覧から「Luiケータイサーバ」をクリックする

3 一覧の上部にある「アンインストール」をクリックする

4 「Luiケータイサーバを削除しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックする

削除が始まります。

5 アンインストールが完了したことを示す画面が表示されたら、「OK」をクリックする

再起動を促す画面が表示されますので、パソコンを再起動してください。

チェック

・ PS/2キーボードが接続されているパソコンや一部のパソコンでは、アンインストールが完了すると自動で再起動をおこなう画面が表示され、「再起動」ボタンをクリックするか、一定時間経過すると再起動します。

これでLuiケータイサーバのアンインストールは完了です。

用語集

AOSS

バッファロー社が開発した、無線LANの設定を簡単にできる機能。

APOP

電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化する認証方法。
パスワードを暗号化して送信することにより安全性を確保。

DDNS

DNSデータベースを動的に更新する技術。「ダイナミックDNS(Dynamic DNS)」の略。
DDNSを利用できるサービスを「DDNSサービス」と呼び、プロバイダなどから申し込み可能。

DHCP

ネットワークに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコル。

DNS

ホームページのドメイン名をIPアドレスに変換するしくみ。
ブラウザでホームページを見るときには、ブラウザのアドレス欄に入力したドメイン名を、プロバイダなどが所有しているDNSサーバがIPアドレスに変換してホームページを探す。

DPI

ディスプレイやプリンタなどで使われる解像度の単位。この値が高いほど精細な表示や印刷などが可能。

LAN

同軸ケーブルや光ファイバーなどを使って、同じ建物の中にあるコンピュータやプリンタなどを接続し、データのやりとりをするネットワーク。

OP25B

Outbound Port25 Blockingの略称で、メール送信に使われる25番ポートをブロックし、特定の条件下にてメール送信を不可能とする仕組みのこと。主に迷惑メール対策として使われている。

POP

電子メールを受信するためのプロトコル。電子メールの送信に使われるSMTPとセットで使われる。

SMTP

電子メールを送信するためのプロトコル。サーバにメールを送信する際などに使われる。

UPnP

家庭内のパソコンや周辺機器、家電製品品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様。

WEP

Wired Equivalent Privacyの略称で、最も一般的な暗号化方式。アクセスポイント(親機)とクライアント(子機)に共通の暗号キー(WEPキー)を設定する。

Wi-Fi

Wi-FiはWireless Fidelityの略称で、Wi-Fi Allianceによって無線LAN機器間の相互接続性を認証されたことを示す名称。本端末では無線LANを意味する。

WoL

Wake on LANの略称で、LANに接続されたコンピュータをネットワーク経由でほかのコンピュータから起動する機能のこと。

WPA/WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access -Pre Shared Keyの略称。Wi-Fi Allianceが規格化したセキュリティ規格で、WEPよりセキュリティの強度が向上した暗号化方式。

WPS

無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を容易におこなうことができる機能。

セーフコネクト

N-08BとサーバPCをインターネット経由で安全に接続するための、NEC独自のVPN(仮想プライベートネットワーク)技術。

ドメイン

インターネット上のコンピュータやネットワークを識別するために付けられている名前のこと。インターネット上の住所のようなもので、アルファベットや数字、記号の組み合わせで構成される。

ポート

外部とデータを入出力するためのインターフェースのこと。

ポートフォワード（ポートマッピング）

外出先から送信されてきた特定のポートに対する通信をLAN内の指定したPCに転送し、アクセスを可能にすること。
ルータの設定画面で転送元のポート番号、転送先のPCのIPアドレスを設定する。

らくらく無線スタート

NECアクセステクニカ社が開発した、無線LANの設定を簡単にできる機能。

リモートスクリーン

N-08BからサーバPCを遠隔操作するNEC独自の機能。

索引

Lui機能マニュアル

初版 2010年 7月
NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社